
週休２日達成に向けた取組の 好事例集（第二版）

国 土 交 通 省

目 次

I. 住宅・不動産事業分野.....	1
1. 市街地再開発事業（完成済）.....	2
2. 市街地再開発事業・分譲住宅建設工事（完成済）☆.....	4
3. 市街地再開発事業（完成済）☆.....	6
4. 商業施設建設工事（完成済）.....	8
5. 商業施設建設工事（施工中）★.....	10
6. 高層マンション建設工事（完成済）★.....	12
7. 高層マンション建設工事（施工中）☆.....	14
8. 高層マンション建設工事（施工中）☆.....	16
9. 分譲住宅建設工事（完成済）.....	18
10. 分譲住宅建設工事（完成済）.....	20
11. 分譲住宅建設工事（完成済）.....	22
12. 分譲住宅建設工事（完成済）☆.....	24
13. 分譲住宅建設工事（完成済）☆.....	26
14. 分譲住宅建設工事（完成済）☆.....	28
15. 分譲住宅建設工事（完成済）★.....	30
16. 分譲住宅建設工事（施工中）☆.....	32
17. 分譲住宅建設工事（施工中）☆.....	34
18. 分譲住宅建設工事（施工中）★.....	36
19. 分譲住宅建設工事（施工中）★.....	38
20. 宅地造成工事（施工中）☆.....	40
21. 管理棟建替工事（完成済）.....	42
22. ショッピングモール造成工事（完成済）.....	44
II. 鉄道事業分野.....	47
1. 駅舎リニューアル工事（完成済）☆.....	48
2. ホーム築造工事（施工中）☆.....	50
3. 電柱基礎工事（完成済）☆.....	52
4. 高架橋新設工事（施工中）☆.....	54
5. 高架橋修繕工事（完成済）.....	56
6. 橋梁塗装工事（完成済）.....	58
7. こ線橋新設工事（完成済）☆.....	60
8. こ線橋新設工事（完成済）☆.....	62
9. こ線橋新設工事（完成済）☆.....	64
10. こ線橋新設他工事（完成済）.....	66

11. こ線橋新設工事（施工中）★	68
12. こ道橋新設工事（施工中）★	70
13. こ線人道橋新設工事（施工中）★	72
14. 道路橋補修工事（施工中）★	74
15. 道床更換工事（完成済）★	76
16. 進入防止柵設置工事（完成済）.....	78
17. 侵入防止柵改修工事（施工中）★	80
18. 法面整備工事（完成済）.....	82
19. 法面改修工事（完成済）.....	84
20. 落石防止網新設工事（完成済）.....	86
21. 防風壁設置工事（完成済）★	88
22. 工業用水道管新設工事（完成済）★	90
III. 電力事業分野	93
1. 発電所施設用地造成工事（完成済）★	94
2. 原子力発電所立坑掘削工事（完成済）★	96
3. タンク基礎他設置工事（施工中）★	98
4. 発電所排水処理装置修繕工事（完成済）.....	100
5. 鉄塔工事（施工中）.....	102
6. 鉄塔工事（施工中）★	104
7. 鉄塔工事（施工中）★	106
8. 送電施設新設工事（完成済）★	108
9. 送電施設改良工事（完成済）★	110
10. 送電施設改良工事（施工中）★	112
11. 鉄塔建替工事（完成済）★	114
12. 鉄塔建替工事（施工中）★	116
13. 原子力発電所トンネル工事（施工中）★	118
14. 水圧鉄管更新工事（施工中）★	120
15. 火力線新設工事（未着工）★	122
16. タンク基礎他設置工事（施工中）★	123
17. 水力発電所再開発事業（施工中）★	125
18. 水力発電所改造工事（施工中）★	127
19. 変電所外装他修繕工事（完成済）.....	129
20. 発電所系統連系接続工事（施工中）.....	131
21. ダム管理所改修工事（施工中）★	133
22. 寮新館改修工事（完成済）.....	135
23. ロックシェッド設置工事（完成済）★	137
24. 発電所施設除却工事（施工中）★	139

25. 発電所設備撤去工事（施工中）★	141
26. 工事用道路整備工事（施工中）★	143
IV. ガス事業分野	145
1. LNG基地プラント建設工事（完成済）	146
2. 発電用LNG設備設置工事（完成済）	148
3. 製造設備増設工事（完成済）☆	150
4. ガス製造プラント改修工事（施工中）★	151
5. 幹線建設工事（完成済）	152
6. 幹線建設工事（完成済）☆	154
7. 幹線建設工事（シールド工事）（完成済）☆	156
8. 幹線建設工事（シールド工事）（施工中）	158
9. 幹線建設工事（シールド工事）（施工中）	160
10. 幹線建設工事（シールド工事）（施工中）	162
11. 幹線建設工事（シールド工事）（施工中）	164
12. 幹線建設工事（施工中）★	166
13. ガスパイプライン築造工事（シールド工事）（施工中）	168
14. ガスパイプライン築造工事（シールド工事）（施工中）	170
15. 配管工事（施工中）☆	172
16. 建屋新設工事（完成済）	174
17. 地上タンク除却工事（完成済）	176
V. 工場分野	179
1. 工場新設工事（完成済）★	180
2. 工場新設工事（完成済）★	181
3. 工場新設工事（完成済）★	183
4. 工場新設工事（施工中）★	185
5. 工場新設工事（施工中）★	186
6. 工場新設工事（施工中）★	188
7. 工場新設工事（施工中）★	190
8. 工場新設工事（施工中）★	192
9. 工場増築工事（完成済）★	194
10. 研究施設新設工事（完成済）★	196
11. 工場設備基礎工事（完成済）★	198
12. 燃料発電施設工事（施工中）★	200
VI. 病院分野	203
1. 病院新設工事（施工中）★	204

2. 病院新設工事（施工中）★	206
3. 病院増改修工事（施工中）★	208
4. 病院建替工事（施工中）★	210
5. 病院移転工事（施工中）★	212

注） 「施工中」または「完成済」：令和2年1月末現在の状況。

「☆」：掲載内容を更新した事例。

「★」：第二版に新たに追加した事例。

III. 電力事業分野

1. 発電所施設用地造成工事（完成済）☆

工事概要			
発注者	〇〇電力会社	受注者	〇〇建設会社
工事規模	契約額：約 19 億円	工期	1,041 日
工事内容	区分：新設 施設用途：発電施設 諸元等： ・原子力発電所施設用地の造成 ・造成面積 約 1ha×2 箇所（切土量 約 39 万 m³） 条件等： ・工事に伴う工事区域周辺（地元）への粉塵防止対策が必要。 施工体制： ・下請け階層：三次、一次下請 12 社		

取組目標

☆ 現場閉所 4週8閉所 ☆ 現場作業従事者 4週8休 を目標に設定

□ 目標設定の背景等

・発注者から当初工期が示された際は、工程が厳しく、4週4閉所を想定していたが、受注者としては、働き方改革に対する会社の目標として最低4週6閉所を行うこととしていたため、工程を見直すとともに重機の効率的な施工方法を取り入れ、4週6閉所が達成できていた。

・さらに、工期が約1年延長されたことで工程に余裕ができ、発注者や協力会社と協議を行った結果、平成 30 年5月から4週8閉所を実施している。

□ 目標対象者の範囲

・原則、元請け、下請けを問わず全ての現場従事者（元請け：現場技術者9人、下請け：現場作業従事者 約 60 人）を対象としている。

・取組開始当初、対象者に趣旨を十分に理解してもらい、会社の方針として説明し、納得してもらっている。

取組内容

■ 目標達成のための実施方法や工夫等

□ 受注者側の取組

○週休2日の導入

・原則土日を休みとし、天候などの都合で稼働率が落ちた場合には、土曜日を稼働する代わりに祝日を休みとし、月単位で4週8閉所を実現している。
（土曜日の稼働は、4週8閉所を実施して以降は、3～4回程度実施）

・月単位の休日予定を事前に決め、社員及び協力会社に周知し、その休みを前提として、工程管理を行っている。

○効率的な施工法、施工管理の採用

・複数箇所の並行作業が可能かどうか検討するとともに、重機の規格をランクアップさせ、施工能力を向上させることで工程に余裕をもたせた。

- ・さらに重機をICT仕様としGPSで管理する等、生産性の向上を行った。具体的には、バックホウのマシンガイダンスシステムの導入により、測量（丁張やトンボの設置）を行うこと無しに、法面整形や造成盤の仕上げを行うことができた。

- ・工事の進捗状況や出来形管理に3D-CADを活用することにより、仕上がり形状を分かりやすく示すことができ、施工計画や施工検討に有効に利用できるとともに、土量の算出が効率的にまた正確に行うことができた。

■ 取組をおこなって良かった点

- ・工期途中から4週8閉所にしたことにより、休日を増やし、またワークライフバランスを充実（身体の休息や家族サービス）させることができるようになった。

- ・現場を完全に閉所し一斉に全員が休みを取ることができるので、当番制で少ない社員が現場管理をするということがなくなったので、安全管理の面でも効果がある。

（以前は担当社員の半数（3人）が交替で土曜出勤していたが、完全閉所でゼロにすることができた）

■ 留意すべき課題等

- ・協力会社の多くが地元会社であるため、日給月給の技能者は土曜閉所日に他の現場に行くことがあるようで、更には他現場が忙しい時には、人が集まらない時がある。ある程度先を見越して、協力会社に正確な工程と作業内容及び必要人員を伝え、人を確保してもらっている。

- ・本工事の取組や目標は、工期延期となって工程的に余裕があったために達成できたが、厳しい工程の工事では達成が難しいかもしれない。

- ・工程に余裕があり、現場の方針として徹底し、発注者や協力会社からの理解が得られれば、取組や目標の実施は可能と考えられる。

Key Word: 週休2日、ICT建機、3D-CAD

2. 原子力発電所立坑掘削工事（完成済）☆

工事概要			
発注者	〇〇電力会社	受注者	〇〇建設会社
工事規模	契約額：約▲億円		工期：522日
工事内容	区分：新設		
	施設用途：その他		
	諸元等： ・掘削 11,000m ³ (A=約 440m ² 、深さ 24m)、仮設土留め 2,050m ² ・吹付け、ロックボルト、グラウンドアンカー		
	条件等： ・地盤条件：岩盤 ・施工場所：原子力発電所構内(周辺防護区域内) 施工体制： ・下請け階層：二次、一次下請 6 社		

取組目標

★ 現場閉所 4週8閉所 ☆ 現場作業従事者 4週8休 を目標に設定

□ 目標設定の背景等

・受注者は、若干の稼働率低下となっても発注者から示された工程を確保できるとともに、来たるべき4週8閉所の目標達成のためには今から目標に近づけていく決断が必要と判断し、目標を設定した。

□ 目標対象者の範囲

・原則、元請け、下請けを問わず全ての現場従事者(現場技術者9人、現場作業従事者20人)を対象としている。

・ただし、当現場は4週8閉所であるが、下請けの現場作業従事者が当現場閉所日に他現場へ行くことについては制限していない。

取組内容

■ 目標達成のための実施方法や工夫等

□ 受注者側の取組

○計画的な閉所日の設定

・大型連休を含めて年間 104 閉所(平均4週8閉所)の設定。

・具体の閉所日が記載された年間稼働日カレンダーを作成し、下請けに提示している。

・また年間稼働日に従って、年間工程表を作成している。

2018年												2019年		
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	1	2	3
1 日	1 日	1 日	1 日	1 日	1 日	1 日	1 日	1 日	1 日	1 日	1 日	1 日	1 日	1 日
2 日	2 日	2 日	2 日	2 日	2 日	2 日	2 日	2 日	2 日	2 日	2 日	2 日	2 日	2 日
3 日	3 日	3 日	3 日	3 日	3 日	3 日	3 日	3 日	3 日	3 日	3 日	3 日	3 日	3 日
4 日	4 日	4 日	4 日	4 日	4 日	4 日	4 日	4 日	4 日	4 日	4 日	4 日	4 日	4 日
5 日	5 日	5 日	5 日	5 日	5 日	5 日	5 日	5 日	5 日	5 日	5 日	5 日	5 日	5 日
6 日	6 日	6 日	6 日	6 日	6 日	6 日	6 日	6 日	6 日	6 日	6 日	6 日	6 日	6 日
7 日	7 日	7 日	7 日	7 日	7 日	7 日	7 日	7 日	7 日	7 日	7 日	7 日	7 日	7 日
8 日	8 日	8 日	8 日	8 日	8 日	8 日	8 日	8 日	8 日	8 日	8 日	8 日	8 日	8 日
9 日	9 日	9 日	9 日	9 日	9 日	9 日	9 日	9 日	9 日	9 日	9 日	9 日	9 日	9 日
10 日	10 日	10 日	10 日	10 日	10 日	10 日	10 日	10 日	10 日	10 日	10 日	10 日	10 日	10 日
11 日	11 日	11 日	11 日	11 日	11 日	11 日	11 日	11 日	11 日	11 日	11 日	11 日	11 日	11 日
12 日	12 日	12 日	12 日	12 日	12 日	12 日	12 日	12 日	12 日	12 日	12 日	12 日	12 日	12 日
13 日	13 日	13 日	13 日	13 日	13 日	13 日	13 日	13 日	13 日	13 日	13 日	13 日	13 日	13 日
14 日	14 日	14 日	14 日	14 日	14 日	14 日	14 日	14 日	14 日	14 日	14 日	14 日	14 日	14 日
15 日	15 日	15 日	15 日	15 日	15 日	15 日	15 日	15 日	15 日	15 日	15 日	15 日	15 日	15 日
16 日	16 日	16 日	16 日	16 日	16 日	16 日	16 日	16 日	16 日	16 日	16 日	16 日	16 日	16 日
17 日	17 日	17 日	17 日	17 日	17 日	17 日	17 日	17 日	17 日	17 日	17 日	17 日	17 日	17 日
18 日	18 日	18 日	18 日	18 日	18 日	18 日	18 日	18 日	18 日	18 日	18 日	18 日	18 日	18 日
19 日	19 日	19 日	19 日	19 日	19 日	19 日	19 日	19 日	19 日	19 日	19 日	19 日	19 日	19 日
20 日	20 日	20 日	20 日	20 日	20 日	20 日	20 日	20 日	20 日	20 日	20 日	20 日	20 日	20 日
21 日	21 日	21 日	21 日	21 日	21 日	21 日	21 日	21 日	21 日	21 日	21 日	21 日	21 日	21 日
22 日	22 日	22 日	22 日	22 日	22 日	22 日	22 日	22 日	22 日	22 日	22 日	22 日	22 日	22 日
23 日	23 日	23 日	23 日	23 日	23 日	23 日	23 日	23 日	23 日	23 日	23 日	23 日	23 日	23 日
24 日	24 日	24 日	24 日	24 日	24 日	24 日	24 日	24 日	24 日	24 日	24 日	24 日	24 日	24 日
25 日	25 日	25 日	25 日	25 日	25 日	25 日	25 日	25 日	25 日	25 日	25 日	25 日	25 日	25 日
26 日	26 日	26 日	26 日	26 日	26 日	26 日	26 日	26 日	26 日	26 日	26 日	26 日	26 日	26 日
27 日	27 日	27 日	27 日	27 日	27 日	27 日	27 日	27 日	27 日	27 日	27 日	27 日	27 日	27 日
28 日	28 日	28 日	28 日	28 日	28 日	28 日	28 日	28 日	28 日	28 日	28 日	28 日	28 日	28 日
29 日	29 日	29 日	29 日	29 日	29 日	29 日	29 日	29 日	29 日	29 日	29 日	29 日	29 日	29 日
30 日	30 日	30 日	30 日	30 日	30 日	30 日	30 日	30 日	30 日	30 日	30 日	30 日	30 日	30 日
31 日	31 日	31 日	31 日	31 日	31 日	31 日	31 日	31 日	31 日	31 日	31 日	31 日	31 日	31 日

年間稼働日カレンダー

■ 取組をおこなって良かった点

- ・稼働日数が減り、休日を確保するため、下請け・元請けとも残業が増える傾向にある一方、計画的に休日取得することにより、余暇の時間の使い方が有効になっている。

■ 留意すべき課題等

- ・日給月給の技能者については、土曜閉所をしていない他の現場に流れる場合がある。特に地場の下請けの場合には、通勤可能エリアに複数の現場を抱えているので、その確率が高くなる。今のところそのような恐れはないが、今後の工事においては施主と協議しなければならない局面が発生するかもしれない。
- ・本工事の取組や目標は、他の類似工事においても可能かは分からない。

Key Word: 計画的な閉所日

3. タンク基礎他設置工事（施工中）☆

工事概要			
発注者	〇〇電力会社	受注者	〇〇建設会社
工事規模	契約額：10億円未満	工期	431日
工事内容	<u>区分</u> ：新設 <u>施設用途</u> ：その他 <u>諸元等</u> ： ・原子力発電所敷地内に、タンク設置の為に基礎および付帯設備を設置する工事 ・地盤改良工(3,500m ³)、コンクリート基礎設置(1,000m ³) <u>条件等</u> ： ・原子力発電所構内での作業であるため、放射線管理が必要。 <u>施工体制</u> ： ・下請け階層：二次、一次下請 5社		

取組目標

★ 現場閉所 4週8閉所 ☆ 現場作業従事者 4週8休 を目標に設定

□ 目標設定の背景等

・発注者も時間外労働短縮に積極的に取り組んでいること、他の施工会社も週休2日制を導入していることもあり、4週8休の実施をベースとした工程計画が受け入れやすい土壌があった。

・2016年4月から、4週8閉所を実施している。

□ 目標対象者の範囲

・原則、元請け、下請けを問わず全ての現場従事者(現場技術者11人、現場作業従事者110人)を対象としている。

・取組開始当初は、現場作業従事者から稼働日数減少による賃金の低下に対する反発があったが、週休2日を取得する意義(建設労働者数の減少、十分な休息をとることによる事故リスクの低減)を繰り返し説明することによって、理解が得られるようになった。

取組内容

■ 目標達成のための実施方法や工夫等

□ 受注者側の取組

○週休2日の導入

・完全週休2日制を実施する以下の目的を協力会社も含めて説明することで、所内全体の意識共有をはかった。

【目的】

- ・労働環境を他業種と同等以上に整備することで、建設業全体の魅力向上につなげる。
- ・十分な休養をとり体力・精神の回復をはかることで、熱中症・私病及び体調不良が起因となる事故発生リスクを軽減する。
- ・勤務計画表(2ヶ月分)を作成・掲示することで、職員全員が休日の予定を立てやすいようにしている。

○勤務計画表の回覧と調整

- ・勤務計画表は回覧し、工事グループ毎で調整を行っている。

[illegible]

勤務計画表イメージ



勤務計画表の掲示

■ 取組をおこなって良かった点

- ・十分な休養をとり体力・精神の回復をはかることで、熱中症、私病及び体調不良が起因となる事故発生リスクを軽減することができている。

■ 留意すべき課題等

- ・取組開始当初は、稼働日数減少による賃金の低下に対する反発があった。特に5月や8月等の長期休暇のある月は土曜日稼働して欲しいという要望が強かった。
- ・今後、発注者に工作物(タンク基礎等)を引き渡す期日が達成できない恐れが生じた場合には、休日稼働が発生する可能性がある。
- ・本工事の取組や目標は、発注者側と引渡し期日について週休2日をベースに協議し設定すれば、他の類似工事においても可能と考えられる。

Key Word: 週休2日、勤務計画表

4. 発電所排水処理装置修繕工事（完成済）

工事概要			
発注者	〇〇電力会社	受注者	〇〇建設会社
工事規模	契約額：約2百万円	工期	40日
工事内容	区分：改修 施設用途：発電施設 諸元等： ・火力発電所の排水処理水槽(RC造) ・断面復旧工 18m²、ひび割れ注入工 270m 条件等： ・特になし 施工体制： ・下請け階層：一次		

取組目標

★ 現場閉所 4週6閉所 ☆ 現場作業従事者 4週8休 を目標に設定

□ 目標設定の背景等

●発注者

・後工程の制約がなく、また工事エリア内で同時並行で進める他工事もなかったため、土木側の単独工事として余裕のある工期設定ができた。

●受注者

・余裕のある工期設定であり、工事特性として連続した施工の必要性が無く、施工時期を選択でき、また下請け会社の数が少なかったため調整が容易であったことから、1週5労働日(土曜日は作業に入れない)の計画とした。

□ 目標対象者の範囲

・元請けと一次下請け(現場代理人1人、現場作業従事者 平均4人)を対象とした。

●発注者

・受注者に対し工事現場説明時(発注前)と工事開始前(発注後)に“取り組みへの協力をお願い”を行い、理解を得た。

●受注者

・一部の下請けの会社では既に4週6休が定着しており、取組に対する抵抗は少なかった。

取組内容

■ 目標達成のための実施方法や工夫等

□ 発注者側の取組

○受注者とのコミュニケーションや工程管理の充実

・目標が達成できるよう、受注者とのコミュニケーションを密にし、現場で発生する諸問題を迅速に解決するよう配慮した。

・具体的には毎日、受注者と翌日の作業打合せを行うとともに、発注者側の土木職員が極力現場に出向き、受注者とコミュニケーションをとるよう心掛けた。

・また工事の進捗状況を日報、作業予定表、作業打合せにて毎日確認していた。

□ 受注者側の取組

○週休2日の導入

- ・基本1週2休とし、月単位で4週8休を目標とした。日曜日は原則休日とし、月～土で1休することとした。工期全体としては、連休等を含め4週8休を目標とした。

○下請けとの密な打合せによる工程調整

- ・下請けとは、全工期の中でどの時期に作業を行うか話し合い、4週8休を実施するための打合せを行って履行していった。

■ 取組をおこなって良かった点

●発注者

- ・現場で管理する若手職員から、今回の取組を俯瞰し「作業員の方にしっかり休んで頂くことは、仕事の質の向上にもつながるのではないか」とのコメントがあった。

●受注者

- ・仕事の効率化とコミュニケーションが向上したと感じている。

■ 留意すべき課題等

●発注者

- ・協力会社を含め受注者側には、「休みに出てでも短期間に仕事を終え、次の仕事をしたい」という意識が根底にあるように感じた。この当たりの受発注者双方の意識改革が重要と感じた。

- ・本工事の取組や目標は、工事時期や工事内容・環境が似ている場合には、他の類似工事においても可能と考えられる。

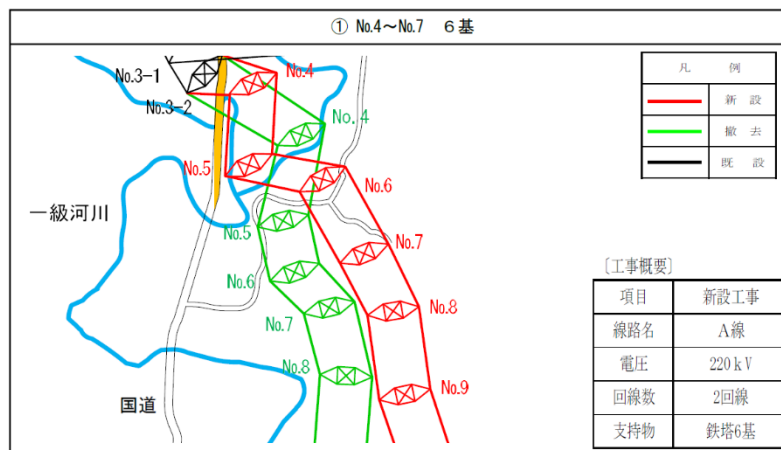
●受注者

- ・工事特性(発注条件である工期の長短や施工時期)により、実施内容や実施の難度に大きな差が生じると感じている。実際に自然条件(大雨・台風等)によって、現場事務所待機が何度か生じた。なお、事務所待機の待機費用は、振替休日取得により、負担は生じていない。

Key Word: 週休2日、コミュニケーション、下請けとの密な打合せ

5. 鉄塔工事（施工中）

工事概要			
発注者	〇〇電力会社	受注者	〇〇建設会社
工事規模	契約額：(非公開)		工期：666日
工事内容	区分：新設 施設用途：送電施設 諸元等： ・220kV 送電線路の鉄塔建替工事(12 基) 条件等： ・制約条件：周辺に果樹園等があり、工事車両通行時における一般車両や地域住民への安全について留意する必要がある。 ・引き渡し：既設送電線から今回新設する送電線への切替え時、既設送電線の停止が必要であるが、電力系統の運用状況等から、限定される停止時期までに竣工させる必要がある。 施工体制： ・下請け階層：二次下請まで		



取組目標

★ 現場閉所 4週8閉所 ★ 現場作業従事者 4週8休 を目標に設定

□ 目標設定の背景等

・今回の工事は、既設送電線路とは別ルートに鉄塔を建替える工事であり、既設送電線路の線路停止条件(期間・時期)に工程を制約されることがない。

・発注者側で、過去の同種・同規模の工事实績等を踏まえた工事ステップ等を検討した結果、4週8休を想定した工事期間で運用開始予定時期までの工事完遂が可能と考えたので、目標を設定した。

□ 目標対象者の範囲

・元請け、下請けを問わず全ての現場従事者(元請現場監理員6名、現場作業従事者 40名程度)を対象としている。

取組内容

■ 目標達成のための実施方法や工夫等

□ 発注者側の取組

○月1回、3連休(原則、第2週土曜日～月曜日)を設定

・送電線工事業界の労働環境改善の取組の一つとして実施。

○工事受注者と協議し、GW、お盆、年末年始などに大型連休を設定

○定期的な打合せ、カレンダーの共有

・工事の受発注者が参加する月間会議など工事進捗に関する定期的な打合せの場を設け、適切に工程を管理することにより、工事受注者と協議の上で設定した月1回の3連休（原則、第2週土曜日～月曜日）の確保を徹底。

・月1回の3連休に関してはカレンダーを作成し、社内、取引先（カレンダーの電子データを提供）と共有。作業現場への掲示を促すなど、取引先と一体となって休日を取得し易い環境を整備。



作成したカレンダーの例

○工事関係書類の電子化・簡素化

・工事関係書類（工事施工計画書、検査結果記録報告書等）の電子化及び報告様式の簡素化により、工事受注者の負担を軽減。

・施工計画書は、特に留意する事項や安全対策等の重要なポイントを厳選して記載（数枚程度となるよう）するよう簡素化。

○取引先との連携

・取引先へのヒアリングなどを通じて、現場作業従事者の労働時間管理の実態把握（現場作業従事者の休日取得実績や作業環境全般について）を行い、取引先の経営層と4週8休を考慮した場合の工期設定のあり方等について、検討を実施。

□ 受注者側の取組

○連続した休日の取得

・GW、お盆、冬期の作業休止などに集中して休日を取得し、土曜・祝日は交替で休日を取得するようにしている。

■ 取組をおこなって良かった点

・月1回の3連休（原則、第2週土曜日～月曜日）に合わせて、職員が休暇を取得する機会が増加。

・電子書類による回覧処理が早くなるとともに、施工計画書等の簡素化により時間外の机上業務が短縮。

■ 留意すべき課題等

・今後、目標達成を困難にする恐れのある事項等として、発注者としては、台風や大雨など自然災害（搬入路や工事用地の崩壊）による復旧作業等が追加された場合や大規模災害に伴う復旧優先度の高い他現場への応援が必要となった場合、工事用地地権者との交渉が難航した場合などが挙げられる。

・工事受注者としては、天候不順（予想外の降雨、降雪）の場合や現場作業従事者やダンプトラック等が不足する場合、設計変更が生じた場合が挙げられる。

・本工事の取組や目標の他工事への適用については、施工班数、他の工事との工期の輻輳状況、お客さまからの受電希望、関連する送電線の停止可能時期などの制約があることや用地確保の難易度等が工事毎に異なることから、一概に実施可能とは言えない。

Key Word: 月1回3連休、工事関係書類の電子化・簡素化

6. 鉄塔工事（施工中）★

工事概要			
発注者	〇〇電力会社	受注者	〇〇建設会社
工事規模	契約額：（非公開） 工期：約 246 日		
工事内容	区分：改修 施設用途：送電施設 諸元等： ・187kV 送電線、鉄塔建替工事 ・鉄塔建設 7 基 条件等： ・地盤条件：火山灰（支持層：GL-6.2m） ・周辺環境：山地。民有保安林のため工事敷地に制約あり。 ・引き渡し：2020 年 2 月 10 日 施工体制： ・一次下請 4 社、二次下請 2 社		

取組目標

★ 現場閉所 4週6閉所 ★ 現場作業従事者 4週6休 を目標に設定

□ 目標設定の背景等

- ・本工事は、既設送電線の横に新たな鉄塔を建設し、既設送電線へ繋ぎ込む工事である。
- ・鉄塔工事は、既設送電線との離隔距離を考慮したため、線路停止条件（期間・時期）による工程の制約はないが、工事箇所は、急峻な山岳地で全基ヘリコプター運搬のため、運搬作業が天候に左右されることから毎週の休日取得では工事工程への影響が考えられた。
- ・また、作業現場が通勤圏内ではないため、自宅への帰宅時間を考慮し、隔週の3連休を想定した4週6休を目標として設定した。
- ・なお、日給制の下請け作業従事者も多く、発注時に4週8休を考慮した費用算定を行っていなかったため、4週8休の目標は設定していないが、今後は、日給制の下請け作業従事者への安定した収入を確保するため、休日日数を考慮した費用算定を行い4週8休の目標に近づける予定である。

□ 目標対象者の範囲

- ・元請・下請けを問わず、全ての現場従事者（平均 23 人／日）を対象としている。

取組内容

■ 目標達成のための実施方法や工夫等

□ 発注者側の取組

○施工に配慮した鉄塔建位置の選定

- ・鉄塔のルート選定時から施工調査を行い、施工にも配慮した鉄塔建位置を選定した。

○工事の平準化

- ・他工事との工期の重複及び、線路停止日（停電日）の集中する時期を考慮した工期の設定を行ない、年間工事量の平準化を図った。

○計画的な休暇取得

- ・年間の休日を設定し、他工事での線路停止日（停電日）の調整等を図っている。

□ 受注者側の取組

○大型連休の取得

・GWと夏季(お盆)は、家族サービス・疲労回復を考慮し、10 連休とした。

○計画的な休暇取得

・基本的に第二・第四の金・土・日曜日を休日に設定した。

・着工時の全体工程に休日を明記し、現場従事者全員に対して休工日を明確化することにより、計画的な休日取得を図っている。

■ 取組をおこなって良かった点

・計画的な休日を設定することにより、私用の予定を計画しやすくなり良かった。

・平日に休日を設定することで、平日にしか利用できない病院や行政手続きが可能となり、好評であった。

■ 留意すべき課題等

・天候に左右される工種(運搬作業・高所作業)が多いため、休日を固定すると工程が圧迫する恐れがある。

・ヘリコプターの運行状況によっては、休日を返上して作業を行う必要があった。運搬方法の見直しや全基ヘリコプターではなく、天候などに左右されにくい作業箇所を組合せるなどの課題がある。

Key Word: 工事の平準化、計画的な休暇取得、労働環境、大型連休

7. 鉄塔工事（施工中）★

工事概要

発注者	〇〇電力会社	受注者	〇〇建設会社
工事規模	契約額：（非公表） 工期：528日		
工事内容	区分：新設 施設用途：送電施設（接続供給） 諸元等： ・110kV 鉄塔新設 9 基、鉄塔改造 1 基、架線、こう長約 2km 条件等： ・地盤条件：山地、田地 ・周辺環境：標高300m以下の丘陵地が中心。 ・制約条件：既設送電線に係る鉄塔改造や架線工事は、送電線停止期間内に施工する制約がある。また、新設送電線は使用開始日が決まっているため、定められた日に工事を完了させる必要がある。 施工体制： ・元請 現場代理人 1 人、技術員ほか 3 人程度 ・一次下請 7 社、二次下請 未定（総下請社総数 7 社）		



取組目標

★ 現場閉所 4週6閉所 ★ 現場作業従事者 4週6休 を目標に設定

□ 目標設定の背景等

・発注者として4週8休が達成できるよう工期設定しているが、連続作業しなければならない工程がある。

・今回の施工内容や施工方法から、発注者として4週6休が達成可能と判断し、目標を設定した。

□ 目標対象者の範囲

・原則、元請、下請けを問わず、すべての現場従事者を対象としている。

取組内容

■ 目標達成のための実施方法や工夫等

□ 発注者側の取組

○休日 を考慮した工期設定

・正月、大型連休、お盆に加え、原則、土日を休工とする工期設定にするとともに、工事着工から完成までの期間を長く設定し工程に余裕を持たせた。

・既設送電線に係る鉄塔改造や架線工事は、限られた送電線停止期間内での施工が必

要であり、工期全体で4週6休を実施する予定とした。

○元請との調整

- ・事前の工期設定の考えや「働き方改革」を意識した計画となるよう元請と調整し、協力いただいた。

□ 受注者側の取組

○工程調整

- ・正月、大型連休、お盆に加え、送電線建設技術研究会と電力会社等で設定した一斉休日の設定日を完全閉所とする工程とするとともに、工事のステップ毎に4週6休が達成できるよう工程調整を実施した。

○生産性向上に向けた取組

- ・受注者が開発した工具管理システムにより、次のような効率化が図れ、生産性向上を図っている。
 - ・資器材の持出予約ができるので、当日、他工事の持出しと輻輳することがない。
 - ・メンテナンス状況が分かるので、現場で工具の不具合により工事が中断するのを避けることができる。
 - ・資材置場・倉庫に行かずとも、残数量などがわかる。
 - ・持出し時に、バーコードを読取れば、予約した工具かどうか分かるので、誤って持ち出すことがない。

■ 取組をおこなって良かった点

- ・工事着工から完成までの期間を長く設定することで休日を確保しやすい取り組みを実施しており、休日を考慮した計画が立てられている。
- ・受注者は、家族サービスや、趣味に費やす時間が増えたため、心身ともにリフレッシュでき、作業能率の向上が図られているほか、安全面の向上にもつながっている。また、協力業者も、計画的な休暇の取得を実施することにより、同様の効果が得られ工程・品質・安全管理等に積極的な対応が見受けられた。
- ・発注者としても、計画段階から目標を考慮した工程を検討しているほか、施工段階においても、目標を意識した指示を出しており、意識の高揚が図れている。

■ 留意すべき課題等

- ・既設送電線に係る鉄塔改造や架線工事は、限られた送電線停止期間内の実施、また、新設送電線は使用開始日が決まっているため、定められた日に工事を完了させる必要があるため、目標である4週6休が達成できない時期もある。
- ・天候により作業中止せざるを得ない場合があり、急遽の工程変更が余儀なくされるため、計画的な休日とならないことがある。
- ・日給制の現場従事者については、工期の着工がずれると、他工事現場に移動してしまう恐れがあるため、工期については発注者と常に連絡を取り合っている。
- ・また発注者側としては、本工事現場に限った具体的な取り組みはないが、春や秋に停電工事が集中するため、点検など停電不要な工事を夏に織込むなど、作業の平準化を図り、年間を通じた一定の作業量・作業員を確保している。

Key Word: 休日を考慮した工期設定、工程調整

8. 送電施設新設工事（完成済）☆

工事概要			
発注者	〇〇電力会社	受注者	〇〇建設会社
工事規模	契約額：約△億円	工期	757日
工事内容	区分：新設 施設用途：送電施設 諸元等： ・500kV2回線送電鉄塔新設9基、架線亘長3.5km ・基礎部杭長15m～30m、鉄塔高90m前後、一基当たりの鉄塔重量80t～300t、1径間あたりの電線4導体×6相、架空地線2条 条件等： ・工事箇所周辺に民家があるため、作業は日中(8:00～19:00)に限られる。 ・既設送電線に係る鉄塔工事や架線工事は、送電線停止期間内の制約がある。 ・新設送電線使用開始日が決まっているため、平成31年6月中旬に工事を完了させる必要がある。 		

取組目標

★ 現場閉所 4週6閉所 ☆ 現場作業従事者 4週6休 を目標に設定

□ 目標設定の背景等

・既設送電線の停止期間中は休日の制約はあったものの、工事全体を通しては、受注者側から4週6休を想定した施工方法や工程調整ならびに現場作業従事者の休日ローテーションや振替休日による休暇の確保などの提案もあったことから、当初から4週6休の目標を設定することができた。

・なお、日給制の下請けの現場作業従事者も多い状況にある。

□ 目標対象者の範囲

・元請けの社員のみ(9人)を対象とした。

・取組開始当初に、対象者からの抵抗等は特になかった。

取組内容

■ 目標達成のための実施方法や工夫等

□ 発注者側の取組

○集中した連続休暇の取得等

・過去に実施した工事の設定工期および実績を考慮し、受注者側からの提案などを踏まえて工期を設定した。

- ・第2週の日曜を含む土日の一斉休日や、成人の日や海の日など祝日を含む土日月の3連休といった取り組み、GW・お盆・正月など集中して休日を確保するなど、工期全体として4週6閉所を実施した。

■ 取組をおこなって良かった点

- ・家族サービスの向上につながっている。また連休になるため、自宅に帰り、心身のリフレッシュができた。

■ 留意すべき課題等

- ・工場等の休日にあわせた送電線の停止工事や、春・秋の電力需要が比較的少ない時期の停止工事が輻湊する場合には、土日祝日問わず作業せざるを得ない。休日に作業せざるを得なくなった現場作業員には、作業が一段落した後に休暇を取得するようお願いした。
- ・土日を休日にしても、下請けの現場作業従事者は土日稼働している他の工事現場に従事してしまっている。
- ・送電鉄塔基礎工事において、想定外の地下水等により作業内容の変更が生じたため、再施工などにより休日返上となった。
- ・今後、目標達成を困難にする恐れのある事項等として、他社工事との工程調整により計画通りに工事が進捗せずに工程が圧迫される場合や、気象状況によって高所作業ができずに工程が圧迫される場合が挙げられる。
- ・本工事の取組や目標は、十分な送電線停止期間と作業員が確保できれば、他の類似工事においても可能と考えられる。
- ・本工事と同じ取組や目標を設定するとした場合、その取組や目標達成を阻害する恐れのある要素として、発電所停止計画や需要家の制約により送電線停止期間が限定される場合、工期が短期間である場合、基礎工や電工など作業員が十分確保できず、作業員が確保できる期間で集中して工事しなければならない場合が挙げられる。

Key Word: 集中した連続休暇

9. 送電施設改良工事（完成済）☆

工事概要			
発注者	〇〇電力会社	受注者	〇〇建設会社
工事規模	契約額：約 1.5 億円	工期	177 日
工事内容	区分：改修 施設用途：送電施設 諸元等： ・275kV 送電線、鉄塔建替工事ならびに電線移線工事 ・鉄塔建設 1 基、鉄塔除却 1 基、電線移線に伴う作業径間数 3 径間(4 基) 条件等： ・地盤条件：山地、田地。 ・周辺環境：山地(除却)および田地(新設建替え先)。新設鉄塔の工事ヤードが田地の借地が主体であるため、工事期間は稲作の休耕期間に限定。 ・制約条件：電力供給の信頼度を維持しながら送電線路の送電を停止した鉄塔組立・電線架線の工事となることから、鉄塔・架線工事は 1 月 6 日～30 日に制限。 ・引き渡し：平成 31 年 3 月 		

取組目標

★ 現場閉所 4週8閉所 ★ 現場作業従事者 4週8休 を目標に設定

□ 目標設定の背景等

- ・送電線工事における鉄塔工事・架線工事は、供給信頼度を低下させる期間を極力短くする目的で、線路停止による連続作業工程の構築が一般的となっている。
- ・本工事の線路停止条件を踏まえた作業工程は、同一系統における他の送電線工事と協調して実施するため、線路停止期間に尤度がある。これにより、受注者と協議の上、4週8閉所を設定の上、休日確保する取組みを実施することとした。

□ 目標対象者の範囲

- ・原則、元請け、下請けを問わず全ての現場従事者(現場技術者4人、場所打杭工事6人、基礎工事8人、鉄塔組立工事 10 人、架線工事 15 人)を対象とした。
- ・取組開始当初に、下請けの協力会社の代表者には、週休2日の目的や行政の取組であることを詳細かつ丁寧に説明することで納得して頂き、取組に対して理解を得た。
- ・現場作業従事者に対しては、新規入場者教育において教育を実施しており、その中で週休2日の取組なども説明し、取組の浸透に努めた。

取組内容

■ 目標達成のための実施方法や工夫等

□ 発注者側の取組

○ 週休2日の導入

- ・過去の実績により、準備期間、後片付け期間も考慮し、また降雪等による悪天候の影響も織り込み、確度の高い工期を設定した。
- ・工事の進捗等により、週休2日が困難な場合は、工期全体として4週8休相当(集中して休暇を取得する等により確保)を実施した。

○日々の打合せを通じた工程調整

- ・元請けの社員と現場責任者との日々の打合せの中で、工程調整を密に実施した。荒天時などは休日にするなどし、休日を調整した。

■ 取組をおこなって良かった点

- ・発注者として、働き方改革の推進により、受注者が週休2日を確保できる工期を設定したが、実際に週休2日を確保するか否かは受注者に委ねていた部分があった。今回、目標に取組むことにより、いかに週休2日(4週8休)を確保するか、ということを受注者と協議したことで、休暇取得の意識の高揚が図れた。
- ・発注者側の工事監理において、工事進捗に合わせて検査や立会を実施しているが、4週8休を実施することにより、土日等の休日作業(検査や立会)が少なくなった。
- ・現場作業従事者は、祝日や飛び石休を活用して連休化することにより、休日取得ができた。

■ 留意すべき課題等

- ・工事計画段階では4週8閉所を目指したが、基礎(場所打杭+フーチング)工事の建設資材(特に生コン)の受入日程の調整が、生コンプラントメーカーの都合で難航したことにより、止むを得ず4週6休の月も発生した。
- ・日給月給制の現場作業従事者にとっては収入減となり、週休2日を望まない働き手も存在するため、安定した収入確保のためのフォロー策が必要(月給制化等)。
- ・工期の長期化にあたり、工事用スペースの借地期間が長くなり、地権者の方にご迷惑をお掛けする期間が長くなる。本工事ではご理解が得られた。
- ・局地的豪雨による仮設復旧対応のため、受注者には当初の休日予定を仮設復旧対応に充て、休日出勤した作業員は別の週に代休を取得していただいた。
- ・今後、目標達成を困難にする恐れのある事項等としては、荒天が続く場合、事故、災害が発生した場合が挙げられる。
- ・本工事の取組や目標は、他の類似工事においても可能と考えられる。特に自宅通勤圏内であれば、実施可能への可能性はさらに高まると考える。

Key Word: 週休2日、日々の打合せ

10. 送電施設改良工事（施工中）★

工事概要

発注者	中部電力(株)	受注者	シーテック・白川共同企業体
工事規模	契約額：（非公表） 工期：約 834 日		
工事内容	区分：改修 施設用途：送電施設 諸元等： ・154kV の送電線増強工事 ・鉄塔建替 8 基、電線張替 9.6 km ・鉄塔高 53 m～144 m、基礎部杭長 43 m～53 m 条件等： ・一級河川横断箇所(河川区域内建替 1 基含む)のため、河川管理者や地元との調整に留意する必要がある。 ・市立公園など多くの施設を経過しており、施設利用者、地域住民の安全に配慮する必要がある。 ・系統分断により両回線停止による施工が可能であるが、電源線となるため、運開時期は軽負荷期に限られる。 ・運開予定:2020 年 11 月 1 日 施工体制： ・一次下請 15 社		



取組目標

★ 現場作業従事者 4週6休 を目標に設定

□ 目標設定の背景等

・今回の工事は、一部区間を除き系統分断により両回線停止による施工が可能であり、線路停止条件(期間・時期)に工程を制約されることがなく、大型件名で工期も長いことから工程調整が実施しやすいため、現行の4週4休程度から4週6休の取得を目標に設定した。

□ 目標対象者の範囲

・元請・下請を問わず、すべての現場従事者を対象とする。

取組内容

■ 目標達成のための実施方法や工夫等

□ 発注者側の取組

○管理表による調整

・月間工程打合時に、管理表を用いて連続休暇取得状況の確認、翌月の取得計画について調整等を実施している。

○柔軟な工程対応

・社給資材・材料の入荷を早期に実施し、工程見直し時に柔軟に対応できるように配慮している。

・公園施設等の占用等は可能な限り期間を長く設定し、調整しやすい環境を整備して

2019年10月分 安全施工サイクル管理計画【実績・予定】											
過去の実績を参照し、過去の事例を参考にしながら、今後の安全施工サイクル管理計画を策定する。											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											
作業内容											

いる。

○カイゼン活動の実施

- ・杭基礎工事でのカイゼン活動により、作業の“ムダ”の洗い出しや新工法の導入にて効率化施策を展開し、確実に休日の確保ができるよう取り組んでいる。
- ・杭基礎工事の杭頭処理では、従来は6日程度を要していたが、カイゼン活動における作業手順の見直し、新工法の導入により、5日短縮する見通しである。

□ 受注者側の取組

○ICTの活用

- ・工事区間が広く、各作業現場への出向に時間がかかるため、ウェアラブルカメラやドローン画像の活用により、トラブル発生時等の発注者への報告を迅速かつ正確に実施することで、早期解決を図っている。



ドローン画像による現場状況確認

- ・工程会議にてドローン画像の作業進捗状況写真を活用することで、現場状況の認識共有化を図り、会議時間を短縮している。

○連続休日の取得率向上

- ・月に1～2回の一斉連続休日を採用し、連続休日を取得できる環境を整備。
- ・元請社員が、施工班の進捗都合により連続休日が取得できない場合、一人に負担がかかることのないよう交代で勤務し、代休取得を促進。交代時は業務引継が円滑に進むよう普段からの情報共有に心がけている。

■ 取組をおこなって良かった点

- ・取組による意識改革、業務効率化等により、時間外労働時間が減少している。
- ・連続休日にて心身のリフレッシュを図ることにより、日々の労働意欲が向上している。
- ・若年層からは、「計画的に連続休日の取得が可能なため、休日を有効活用できている」との意見があり、離職率の低減に寄与していると考ええる。

■ 留意すべき課題等

- ・協力会社の現場従事者は、日給月給制のため、多くの休日を望まない場合があり、そういった現場従事者は、土日稼働している別の現場にて現場従事しており、休めていない実態がある。
- ・本工事のような系統分断による長期間の両回線停止が可能な現場は少ない。
- ・線路停止条件(期間・時期)の多い現場は、作業日を限定されることが多く、他現場の適用にあたっては、関係各所との綿密な事前調整が必要となる。

Key Word: 管理表、カイゼン活動、ICT、連続休暇

11. 鉄塔建替工事（完成済）☆

工事概要			
発注者	北陸電力(株)	受注者	北陸電気工事(株)
工事規模	契約額：1億円未満	工期	304日
工事内容	区分：改修 施設用途：送電施設 諸元等： ・鉄塔新設1基(撤去1基)、こう長0.5km、電圧・回線77kV、基礎φ1.3m(深さ約45m)、支持物高さ約50m(重量約25t) 条件等： ・地盤条件：軟弱地盤(支持層はGL下約45m) ・周辺環境：工事用地として、水田を借用。工事箇所近傍に住宅と公園あり。 ・引き渡し：2019年5月設備運用開始。 ・制約条件：水田の借用期間は4月末まで。 施工体制： ・一次下請5社 (仮設、基礎、杭、鋼矢板、組立・架線) 		

取組目標

★ 現場作業従事者 4週8休 を目標に設定

□ 目標設定の背景等

- ・本工事は設備停止の期間が約10ヶ月間あり、その中で必要な工事を比較的余裕を持って実施できると発注者側で判断した。
- ・既設送電線と重機との離隔距離確保など、作業上の制約事項が少なく効率的に作業を行うことで休日の確保が可能と判断した。
- ・工事場所は比較的積雪の少ない地域であり、冬期間においても降雪等の作業影響が少なく作業期間が確保できると判断した。

□ 目標対象者の範囲

- ・原則、元請け、下請けを問わず全ての現場従事者(現場技術者2人、現場作業従事者5人(仮設、基礎、杭、鋼矢板)～15人(組立・架線))を対象とした。
- ・取組開始当初、作業日数の短縮に伴い、工程が遅れることの懸念や下請会社との調整が難しくなるなどの意見があった。しかし、本工事が他工事に比べ工程に余裕があることや、働き方改革推進のモデル工事として取り組みたいことを説明し、納得いただいた。
- ・目標対象者から協力を得るため、工程や施工者都合により4週8休を確保できれば、土曜の作業を認めるなど工夫をした。

取組内容

■ 目標達成のための実施方法や工夫等

□ 発注者側の取組

○工事仕様書の規定

- ・工期を十分確保した上で、工事仕様書に「原則、土日作業は禁止とし、困難となる場合は、4週8休を確保すること」を明記した。

○工事工程の把握

- ・工事竣工までの全体工程表を基に、毎日の作業終了の際、双方にて進捗確認を行うとともに、工程遅れが生じる可能性が懸念される場合は、事前に工程の見直しを行い、工事全体として4週8休が確保できるよう調整を行った。

○電子メールの活用による工事管理の効率化

- ・工事施工管理資料および工事検査資料は極力、電子メールでのデータ提出を可能とし、元請けの負担を減らした(施工写真などデータ容量が大きい場合は書類での提出)。電子メールとすることで、週1～2回は往復 60 分の移動の負担を軽減した。

□ 受注者側の取組

○週休2日の導入

- ・原則、土日不休とし、困難な場合は、お盆、年末年始などに集中して休日を取り、工期全体として4週8休を確保した。

○工事工程の把握

- ・日々の進捗から、当初計画した工程を逸脱しないか確認し、次工程の下請け班と連絡を密にし、工程管理を実施した。
- ・現場を閉所できない場合は、副現場責任者を配置し、現場責任者も4週8休を取得しやすい環境とした。

■ 取組をおこなって良かった点

- ・休日に作業しないため、近隣住民からの問い合わせ対応(振動や騒音など)を最小限に抑えることができた。
- ・発注者としては、土日(祝日)が休工となったことにより、休日の作業着手・終了連絡対応が不要となった。工事検査などで休日に出勤することがなくなり、社内の検査員調整も容易にできた。
- ・原則、土日作業禁止としたが、工程や施工者都合により4週8休を確保できれば土曜の作業は認め、順調に取得できた。
- ・受注者としては、休暇を取得することで身体的に楽になった。

■ 留意すべき課題等

- ・1週間の作業日を6日間から5日間に変更したことで、短縮した1日間分を取り戻そうと、元請けの判断で夕方の作業時間を延長する場合があった。
- ・元請けは週休2日制であるため問題ないが、下請業者によっては週休2日制ではないため、作業者が他現場へ回った場合、翌週からの作業者の確保が困難になる場合がある。
- ・本工事のような長期間の設備停止が可能な箇所は電力の安定供給の上で、限定的である。他の同種・同規模の工事と同様の目標設定を行うには、長期の設備停止日数、時期について発電事業者および需要家の了解や工事長期化に伴う工事用地地権者の了解および近隣住民の理解などが必要である。

Key Word: 週休2日、工事仕様書、電子メール

12. 鉄塔建替工事（施工中）★

工事概要			
発注者	〇〇電力会社	受注者	〇〇会社
工事規模	契約額：1億円未満		工期：162日
工事内容	区分：改修 施設用途：送電施設 諸元等： ・66kV 送電線路の鉄塔建替工事(1基) 条件等： ・地盤条件：山地 ・鉄塔組立や架線工事は送電線路の設備停止を伴う。 ・周辺に果樹園があり、工事車両通行や現場作業は収穫時期を避けて作業を行う必要がある。 ・引き渡し：2020年3月 施工体制： ・元請 現場監理員 7人 ・一次下請 4社 		

取組目標

★ 現場閉所 4週6閉所 ★ 現場作業従事者 4週6休 を目標に設定

□ 目標設定の背景等

・受注者の施工方法や工程の検討結果から、発注者として4週6休を達成可能と判断した。

□ 目標対象者の範囲

・元請・下請を問わず、すべての配置技術者及び現場従事者(元請現場監理員7人、現場作業従事者 40人程度)を対象としている。

取組内容

■ 目標達成のための実施方法や工夫等

□ 発注者側の取組

○集中した連続休暇の取得

・年末年始(正月)や、祝日を含む3連休を考慮して工期設定を行った。

○電子メールの活用による工事管理の効率化

・工事施工管理資料などは、電子メールでのデータ受領により現場監理者の負担を減らしている。

○検査工程の調整

・発注者の行う検査の工程について受注者と十分打合せを行い、現場作業が停滞しないよう調整している。

□ 受注者側の取組

○工事工程の把握・調整

・日々の進捗確認を作業班と密に行い、工程の遅れがないか確認している。また、進捗状況に応じた工程管理を行っている。

・なお、翌日の悪天候が予想される場合などは、予め休日にするなどして調整している。

○連続休暇の取得

・年末年始(正月)の作業休止など集中した連続休暇を取得するなど、順調に休日取得ができています。



打合せ風景

■ 取組をおこなって良かった点

・休暇の取得により、心身のリフレッシュが図れている。

・計画的に連続休暇を取得でき、家族サービス等も実施しやすくなり、プライベートの充実が図れている。

・休暇取得の推進により、現場の意識改革が図れつつある。

■ 留意すべき課題等

・送電線路の設備停止作業では、発注者等の都合により、休日でも作業を行わざる得ない場合がある。

・日給制の現場作業従事者もあり、週休2日が望まれない場合がある。

Key Word: 連続休暇、電子メール、検査工程

13. 原子力発電所トンネル工事（施工中）★

工事概要			
発注者	〇〇電力会社	受注者	(株)奥村組
工事規模	契約額：(非公開)		工期：約4年3ヶ月
工事内容	区分：新設 施設用途：発電設備 諸元等： 1.立坑工事 1).工事用立坑：掘削内径 ϕ 12.6～11 m 掘削深さ 37.5 m(SMW 区間 30 m、NATM 区間 7.5 m) 2.トンネル工事 1)工事用横坑：掘削断面 33 m²、延長 18 m 2)トンネル：防水型 RC 構造、仕上り内径 4 m、覆工厚 70 cm、掘削断面 26 m²、延長 137 m 3.グラント土捨場造成工事 ・盛土 24,000 m³ 条件等： (1) 覆工厚 70 cm の複鉄筋構造 (2) 3%以上の急勾配掘削と急曲線(R=60 m)のトンネル線形 (3) 深度 40 m 程度の立坑からのトンネル発進 (4) 1D程度の離隔で既設ダクトトンネルと交差 施工体制： ・元請 現場技術者 専任 8 人、その他 2 人 ・協力会社階層 二次、一次下請 10 社、二次下請 11 社(総下請社総数 21 社)		

取組目標

★ 現場閉所 4週6閉所 ★ 現場作業従事者 4週6休 を目標に設定

□ 目標設定の背景等

- ・当初、4週6休を想定していたが、働き方改革に対する受注者の社内目標として4週8休相当の目標が設定されていた。
- ・工程調整を実施し、月毎の進捗目標及び休日を事前に決定、工事所としては基本4週6閉所を実施することとした。
- ・また職員、現場従事者については確実な代休取得を前提とし、4週8休の休日取得可能と判断した。

□ 目標対象者の範囲

- ・受注者側の職員および協力会社、すべての配置技術者及び現場従事者(平均 30 人/日)を対象としている。
- ・対象者には、あらかじめ趣旨(心身リフレッシュによる事故リスク低減・十分な休養による熱中症、インフルエンザ等の罹患防止・業界の魅力向上等)を説明し、理解していただいている。
- ・主要業者は、受注者の基幹協力会社であったため、混乱なく取り組むことができている。

取組内容

■ 目標達成のための実施方法や工夫等

□ 受注者側の取組

○休日勤務前の代休取得日設定

・年間の休暇取得予定表を作成(月毎に取得状況を確認)している。

・現場作業従事者(職員・協力会社)は、昼夜勤制を敷いているが、土曜は夜勤なしとしている。

・休日勤務の者は、あらかじめ代休取得日を事前設定し、出勤するようにしている。

○隔週2日完全閉所

・GWやお盆のほか、隔週(第二、第四)の土・日曜を完全閉所にした工程計画とし、4週6閉所を確保している。

・各個人の代休取得を含め、4週8休相当を継続中。

・工程調整を実施し、月毎の進捗目標及び休日を事前に決定。休日取得を前提とした工程管理を実施している。

2019年度休暇取得予定・実績表

休暇取得予定表

工事工程表

工事工程表

■ 取組をおこなって良かった点

・休日を確実に取得することで、各個人が肉体的、精神的にもリフレッシュでき、現場作業にも集中力を持って臨めている。

・休日を明確にすることで、発注者サイドの立会等のシフトも組み易くなった。

・子供の学校行事や地域行事に参加しやすくなった。

・夏期の熱中症罹患0件であった。着工以来、無事故無災害を継続している。

■ 留意すべき課題等

・本工事の取組は、発電所構内での施工であり、特異な部分もあり、一概に水平展開できるとは思えない。

・制約条件等が極めて少ない工事であれば、他の類似工事においても可能と考えられる。

Key Word: 休暇取得予定表

14. 水圧鉄管更新工事（施工中）★

工事概要

発注者	〇〇会社	受注者	〇〇会社
工事規模	契約額：10～99億円 工期：約1,150日		
工事内容	区分：改修 施設用途：水力発電施設 諸元等： ・既設水圧鉄管(L=675.5 m)の撤去 ・水圧鉄管(φ850～1,500、L=662.2 m)の新設 条件等： ・特定の施工範囲においては、発電機を停止する必要があるため、電力量が少ない冬季施工(＝湯水期)の施工となり、工程制約が生じる。 ・水力発電施設のため、狭隘かつ傾斜のある山間部での施工となる。 施工体制： ・下請け階層：二次、一次下請 5 社、二次下請 5 社(総下請社総数 10 社)		



取組目標

★ 現場閉所 4週6閉所 ★ 現場作業従事者 4週7休 を目標に設定

□ 目標設定の背景等

・工程上の制約があるとはいえ、生産性向上のための工夫を積み重ねることで達成可能と判断し、4週7休という目標を設定して取り組むこととした。

□ 目標対象者の範囲

・元請・下請を問わず、すべての配置技術者および現場従事者(平均 10 人/日)を対象とした。

取組内容

■ 目標達成のための実施方法や工夫等

□ 受注者側の取組

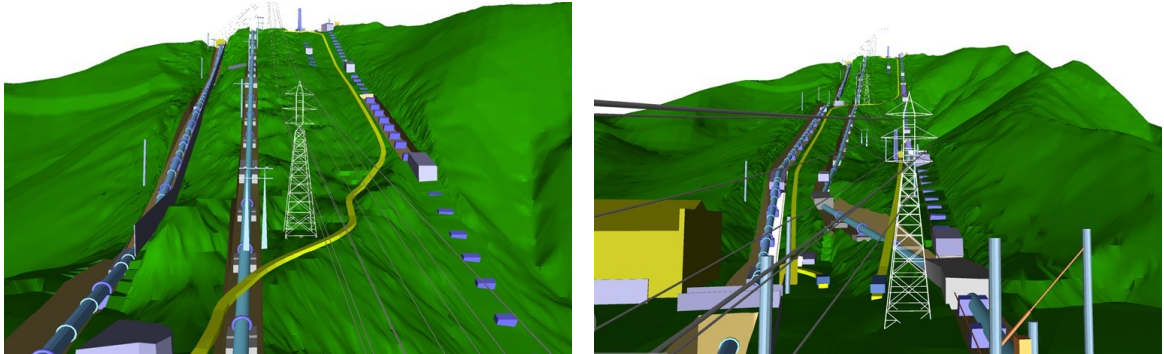
○業務効率化ツールの導入

・安全管理書類をクラウド上で管理することができるツールを使用して、グリーンファイルの作成・提出・管理における業務効率化を図り、元請・下請相互に負担を軽減することとした。

・データサーバのクラウド化や、施工管理における電子ツール(電子小黒板等)を使用することにより、従来であれば現場事務所での内業により行っていた作業を、現場に居ながらに行える体制とした。

○CIM技術の活用

- ・設計段階からCIM設計図を活用して図面を3次元化することにより、現場のイメージを関係者で共有し、各種打合せを効率的に行い、生産性向上を図っている。



CIM技術の活用

■ 取組をおこなって良かった点

- ・施工途中のため、良かった点等は今後検証する予定としている。

■ 留意すべき課題等

- ・施工途中のため、課題等は今後検証する予定としている。

Key Word: 業務効率化ツール、CIM技術

15. 火力線新設工事（未着工）★

工事概要			
発注者	東北電力(株)	受注者	〇〇共同企業体
工事規模	契約額：約 15 億円 工期：648 日		
工事内容	区分：新設 施設用途：送電施設 諸元等： ・154kV 架空送電線 5 km、支持物 13 基 条件等： ・地盤条件：軟弱地盤(支持層:GL-70 m) ・周辺環境：水田地帯、高速道路との交差あり。 施工体制： ・元請 現場代理人 1 人他、技術員 3 人程度 ・下請け階層 未定		

取組目標

★ 現場閉所 4週8閉所 ★ 現場作業従事者 4週8休 を目標に設定

□ 目標設定の背景等

・新設線路であり、既設送電線の停止期間などの制約がないことから、達成可能と判断した。

□ 目標対象者の範囲

・元請・下請を問わず、すべての現場従事者を対象とした。

取組内容

■ 目標達成のための実施方法や工夫等

・(取組前のため、特になし)

■ 取組をおこなって良かった点

・(取組前のため、特になし)

■ 留意すべき課題等

・(取組前のため、特になし)

Key Word:

16. タンク基礎他設置工事（施工中）★

工事概要

発注者	東京電力HD(株)	受注者	大成建設(株)
工事規模	契約額：(非公表) 工期：1,149 日		
工事内容	区分：新設及び撤去 施設用途：その他 諸元等： ・汚染水タンク基礎構築：66 基 ・汚染水タンク基礎付帯設備構築 ・既設タンク撤去・移設：100 基 条件等： ・原子力発電所構内の作業であり、放射線防護および汚染拡大防止対策等が必要。 ・夏期期間中の作業時間の制約あり。 ・別工事(タンク設置工事)との設備の引き渡しなど、関連工事との調整が必要であり、工程遅延は他作業へ影響を与える。 施工体制： ・元請 現場技術者 専任 2 人、現場作業従事者 50 人、その他 1 人 ・下請け階層：二次、一次下請 12 社、二次下請 21 社（総下請社総数 33 社）		

取組目標

★ 現場閉所 4週8閉所 ★ 現場作業従事者 4週8休 を目標に設定

□ 目標設定の背景等

・建設業には猶予期間が設けられているものの、残業時間規制が法令で義務化されてきており、4週8休の達成が不可欠であると判断し設定した。

□ 目標対象者の範囲

・元請・下請を問わず、すべての配置技術者及び現場従事者(平均 30 人/日)を対象とした。

取組内容

■ 目標達成のための実施方法や工夫等

□ 発注者側の取組

○適正工期の設定

・週休二日が達成可能な工期の設定を行った。

・荒天、夏期の高温による休工など、気象条件による影響が工程計画に反映されている。

・夏期の作業中止時間などを仕様書に記載し、発注者の考えが見積もり、施工計画に反映された。

○関連工事との調整

・関連する作業および関係者との密な工程会議を行うことに取り組んできた。

□ 受注者側の取組

○関係者との工程調整

・発注者および関係請負人(施工物を引渡す相手企業)と入念な工程調整を行い、4週8休としても支障が出ないような調整を行った。

○生産性向上に向けた取組

- ・タンク基礎構築において、コンクリート仕上げ作業にロボットを導入し、従来は3人でコンクリートの仕上げ作業を行っていたが、ロボットを導入することにより作業員は2人で済み、作業負荷も軽減することができた。
- ・鉄筋組立作業において、鉄筋結束機を活用し作業の効率化を図っている。鉄筋結束機を活用する事で、3割程度の時間短縮が図られている。



左官ロボット

- ・作業員の手待ち等を発生させないよう、作業員を多能工化させている。

■ 取組をおこなって良かった点

- ・単身赴任の職員、作業員が多いため、週休2日が計画的に取得できることにより、週末には自宅に帰ったり、趣味を楽しむことができるようになった。

■ 留意すべき課題等

- ・日給制の現場従事者に対しては、作業が切れないよう、手持ち工事の中で作業を平準化して安定して仕事ができるように配慮している。安全管理をしっかり対応していくことで、現場作業従事者が安全に仕事ができる現場だと思ってもらえるようにしている。
- ・設計時に予め荒天などによる休工を見込んではいるが、近年の気候変動(台風の大型化や局所的豪雨など)による想定外の休工、復旧期間の発生によっては、土曜稼働も必要となる可能性がある。
- ・建設業においては、工事の繁閑の差が激しく、特に年度末が忙しくなる傾向がある。発注を平準化したり、工期に余裕を持って早めに発注することにより、工程調整の余裕代が生まれ、より週休2日の達成が確実にできると考える。

Key Word: 適正工期、関連工事との調整、生産性向上

17. 水力発電所再開発事業（施工中）★

工事概要			
発注者	〇〇電力会社	受注者	〇〇建設会社
工事規模	契約額：10～99億円		工期：942日
工事内容	区分：改修 施設用途：発電施設 諸元等： ・既設水路補修(延長約3,000m)、水圧鉄管取替(約80m)既設発電所改造(地下式) 条件等： ・他工事(堰、水車発電機据付)との工程調整、許認可等による作業期間、引渡時期、施工区域の制限あり。 ・発電所進入路に潜水橋あり(河川増水時通行不可)、発電所周辺が国指定文化財保護区域のため大規模な土地の改変が出来ない。 施工体制： ・元請 現場技術者 専任12人、現場作業従事者 約50人、その他 2人 ・下請け階層：三次、一次下請け 12社、二次下請 6社、三次下請 1社 (総下請社総数 19社)		

取組目標

★ 現場閉所 4週6閉所 ★ 現場作業従事者 4週6休 を目標に設定

□ 目標設定の背景等

・受注者が働き方改革に取り組んでいることを踏まえ、施工方法や工程の検討結果から達成可能と判断し、目標を設定した。

□ 目標対象者の範囲

・元請・下請を問わず、すべての配置技術者及び現場従事者(平均 50 人/日)を対象とした。

・取組開始当初から、対象者の抵抗は特にない。

取組内容

■ 目標達成のための実施方法や工夫等

□ 発注者側の取組

○大型連休の設定

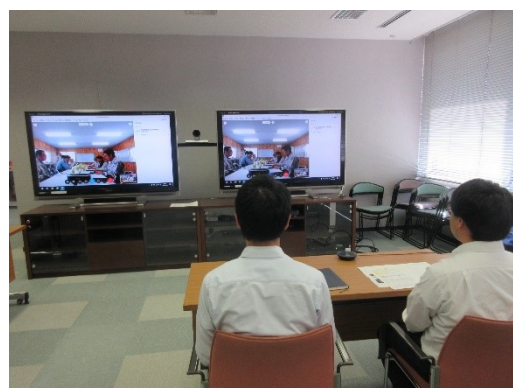
・工事受注者と協議し、GW、お盆、年末年始などに大型連休を設定した。

○定期的な打合せの実施

・工事の受発注者が参加する週、月間の工程会議などにより工事進捗に関する定期的な打合せの場を設け、適切に工程を管理することとした。

○工事関係書類の電子化・簡素化

・工事関係書類(工事日報、施工計画書等)の電子化及び報告様式の簡素化により、受注者の負担を軽減。



WEB会議の実施状況

□ 受注者側の取組

○工程調整

- ・年間休日の目標を期始めに設定し、現場が閉所できるか事前判断を行った上で工程管理を行っている。

- ・現場業務の軽減を図る中で、職員を増員し業務を分散することで個人の負担を軽減させている。

○ICTの推進

- ・ICT活動を推進することで、業務低減を図る。

○手戻り・手直しの防止

- ・手戻り、手直しを発生させないよう、管理職の現場巡視、日々の打ち合わせで状況確認、現場でのダブルチェックと声掛けをしている。

■ 取組をおこなって良かった点

- ・取組みを開始したばかりのため、今のところは特になし。

■ 留意すべき課題等

- ・自然災害(台風、大雨等)による発電所進入路や工事用地の崩壊が発生した際の工程調整が必要となる(不測の事象が発生した場合も同様な対応が必要なる)。

- ・受注者は机上業務を行う時間が限られるため、平日に残業することが多くなった。

- ・今後は提出書類の電子化を図るなど、発注者としても検討が必要である。

Key Word: 大型連休、定期の打合せ、工事関係書類の電子化・簡素化、ICT、手戻り・手直しの防止

18. 水力発電所改造工事（施工中）☆

工事概要			
発注者	〇〇電力会社	受注者	〇〇建設会社
工事規模	契約額：10～99億円	工期	1,500日
工事内容	区分：改修 施設用途：発電施設 諸元等： ・敷地嵩上げ、既設発電所改造、既設水路等の補修 ・敷地護岸擁壁(延長150m、高さ0～15m)、既設発電所改造(半地下式)、既設水路補修(延長3,300m)、発電所建屋新設(延床面積500m²)他 条件等： ・他工事(ダム、発電所機器)工程との調整、許認可等による作業期間、引き渡し時期、施工区域の制約あり。ダム試験湛水開始迄に湛水可能な状況まで完了させなければならない。 ・積雪時は作業休止(12月上旬～3月下旬)。 施工体制： ・下請け階層：三次、一次下請 8社(H30年度)		

取組目標

★ 現場閉所 4週8閉所 ☆ 現場作業従事者 4週8休 を目標に設定

□ 目標設定の背景等

- ・国土交通省・日本建設業連合会が働き方改革に取り組んでいることを踏まえ、発注者からの提案で本取組を実施している。
- ・工事期間は、月5休と荒天による休工を想定して設定している。前日までに閉所を決定することを条件に、荒天による休工も現場閉所に含めることとしている。過去の気象データから荒天による休工が一定程度見込め、受注者の生産性向上と合わせて4週8休が可能であると想定され、発注者側で工期当初から4週8休を目標に設定している。
- ・4週8休に伴うコスト増分については、達成状況に応じて請負工事費を割り増すこととしている。

□ 目標対象者の範囲

- ・原則、元請け、下請けを問わず全ての現場従事者(現場技術者6人、現場作業従事者29人)を対象としている。
- ・取組開始当初に、対象者からの抵抗等は特になかった。休工日の取得条件を緩和している(荒天休工日の算入可、土曜・祝日に限定しない)。

取組内容

■ 目標達成のための実施方法や工夫等

□ 発注者側の取組

○ 計画的な取組

- ・着手年は、融雪の遅れ(1ヶ月)及び次年度以降の工程を踏まえ、冬期休工までに仕上げる必要のある範囲を設定したが、計画的な週休2日は困難であるとの判断から、荒天予想となる場合には、事前の休工届を提出させることで、4週8休の実施実績として取り扱うこととした。

III.電力事業分野

- ・2年目は取組み月を定めること等で4週8休の達成率 50%程度、3年目以降は達成率 100%を目指していく。

○定期の会議等を通じた工程調整

- ・週間工程会議において、今週の実績及び次週予定の確認、他工事予定及びアクセス路使用予定の情報共有、作業安全に関する確認を、受注者と行っている。

- ・台風接近他、荒天予測情報を休工判断材料とすべく、早期に受注者と共有している。

○施工上の工夫等

- ・立会検査は、受注者の都合に合わせて早朝対応する等、現場優先とした対応をしている。

- ・施工計画書他、提出書類の電子承認手続の体制を整え、受注者負担を軽減している。

- ・現場詰所に発動発電機を設置の上、インターネット環境を整備し、通信環境を確保している(現場詰所～受注者事務所の移動・片道 45 分程度の軽減)。



発動発電機の設置状況

- ・現場詰所雑用水等は、受注者任せとせず、発注者側で負担(延べ 20 日間程度の業務量が増加)することで、受注者負担を軽減している。

- ・現場までの使用道路となる林道の路面整正補修他、他施工業者による関連作業については、日曜実施として平日の工事影響を与えない配慮をしている。

□ 受注者側の取組

○交代制の導入

- ・土曜・祝日は交替で休日を取得し、またGW、お盆、冬期の作業休止などに集中して休日を取得し、4週8休を目指す。

■ 留意すべき課題等

- ・着手年及び2年目に工事が集中し、元下間の協議において、週休2日か残業かの選択とならざるを得ないの実態があったため、契約前の受注者への聞き取り等は慎重にすべきであった。

- ・融雪の遅れや自然災害により約3ヶ月の遅れが発生したが、全体として着手年の遅れを1ヶ月とするため、土曜施工実施と施工順序の変更等で補った。

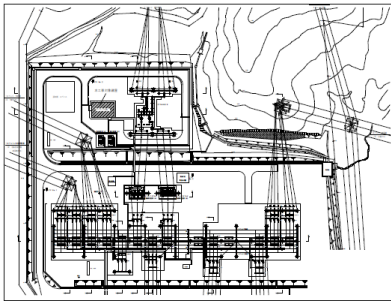
- ・天候等不確定な要素があり、定期的に土曜、祝日を休みにはできていない。GW、お盆、冬期の作業休止などで集中して休日をとることしかできていない。天候不順や工種(既存コンクリートの撤去工事)によっては、想定していた工程より大幅に日数を要し、工期にしわ寄せが生じた。

- ・今後、目標達成を困難にする恐れのある事項等としては、他工事の遅れ、土捨場条件の変更、天候不順、作業員・ダンプトラック等の不足、設計変更が挙げられる。

- ・本工事の取組や目標は、諸条件が変われば他の類似工事においても可能と考えられる。

Key Word: 定期の会議、施工上の工夫、交代制

19. 変電所外装他修繕工事（完成済）

工事概要			
発注者	北海道電力(株)	受注者	(株)高木組
工事規模	契約額：約1千万円	工期	90日
工事内容	区分：修繕 施設用途：変電所 諸元等： ・RC造・地上2階（外壁全面塗装修繕他）、建築面積315.54m²、延床面積623.7m² ・当該建屋は、建設から22年が経過し、外壁面のひび割れおよび塗装退色が著しく、建屋内への漏水による供給支障の恐れがあるため、外装修繕工事他を実施。 ・外壁塗装改修面積599m²、シーリング打替721m 条件等： ・周辺環境：変電所内の建屋であり、周辺に充電部があるため、適切な工事区画を実施。 ・変電所内作業のため、事前に作業内容・作業時間等の制約有り。発注側の全ての担当部署責任者の了解の下での作業となる。 施工体制： ・下請け階層：二次、一次下請 7社、二次下請 6社		
	 		

取組目標

★ 現場閉所 4週8閉所 ★ 現場作業従事者 4週8休 を目標に設定

□ 目標設定の背景等

- ・発注者は発注時点では4週6休を想定した工事期間で計画していたが、受注者より設定工期以内での週休2日の取組の提案があった。
- ・自社物件であり、スケジュールの調整が容易かつ工事実施期間における輻輳作業もなくスムーズな工程調整が可能であったことから、結果的に4週8閉所の設定を行った。
- ・受注者側では、発注者から提示された工期では4週6休が想定されていたが、週休2日に取組むために発注者と工程調整を図り、4週8閉所の計画が設定できた。
- ・発注者の工期設定において十分な仮設日数や現場管理費を設計に反映していただいたため、スムーズに4週8閉所を計画できた。ただし、工期が長くなった分、仮設事務所・安全管理設備等のリース費用が増額となった（増分は、受注額に反映済）。

□ 目標対象者の範囲

- ・原則、元請け、下請けを問わず全ての現場従事者（現場技術者2人、現場作業従事者延べ1,042人）を対象としている。
- ・工事計画段階に、元請けから下請けへ事前に4週8休の取組を周知していたことから、工事期間における現場作業従事者からの抵抗・不満等はなかった。

取組内容

■ 目標達成のための実施方法や工夫等

□ 発注者側の取組

○週休2日の導入

・過去の類似物件等を参考に必要日数を算出し、4週6休を考慮した工期を設定していた。

・土日閉所により、4週8休を実施した。天候等で休む場合は、作業を土曜日に振替えた。

○受注者との密な工程調整

・毎日の作業開始・終了時に、電話連絡により当日の作業予定および進捗状況を確認するなど、受注者との綿密なコミュニケーションを図り工事が円滑に進むよう取組んだ。また週1回程度の間隔で、現地にて状況確認と工事計画の打合せを実施した。

・施工内容に変更が生じる場合は、事前に電話連絡や資料提示を頂き、協議・調整の上で確認・承認を行った。

□ 受注者側の取組

○週休2日の導入

・資材・材料の調達には、搬入日を毎週月曜日に設定し、不測の事態でも翌日又は翌々日に対応できるようにし、4週8閉所に影響が少ない資材入荷を計画した。

・作業日報や毎日の打合せ、天気予報、資材・材料の製造・入荷の遅れの有無、現場作業員の確保状況など、早目の情報収集・対応により週休2日の実現に向けた工程管理を実施。基本、週間天気予報を基に翌週の工程計画を作成した。

■ 取組をおこなって良かった点

・現場監理者との情報共有を都度行い、工程管理がスムーズに実施できた。

・受注者は、現場の意識が変わり、情報共有がスムーズになった。現場作業従事者等からは、早めに休日把握できるので家族サービスができるようになったと好評を得ている。

■ 留意すべき課題等

・設計段階で4週6休を考慮した工期設定を行い、仮設費等の増額を見込む必要がある。

・4週6休・8休を実現するための工期設定を行う場合、仮設事務所や安全管理設備等のリース期間延長による費用増が発生する可能性がある。

・本工事現場が休みの際、協力会社の現場作業従事者は別現場にて作業し、休んでいないのが実態。官庁・民間を問わず発注者の理解の上で実施していくことが必要。

・日給月給の技能者からは、収入が減ってしまったとの声も上がっている。技能者が月給制に移行できるよう人件費を保証できる仕組みが業界全体に必要である。

・本工事の取組や目標は、工期の設定や工事内容にもよるが、今回の外装塗装修繕工事程度であれば、発注者側の理解と協力の下、実施可能と考える。

・既存建屋における修繕工事・改修工事等の場合でも、建屋の設備的理由や機能的理由により工事期間に制約のある場合、実施は困難になると想定される。

Key Word: 週休2日、受注者との密な工程調整

20. 発電所系統連系接続工事（施工中）

工事概要			
発注者	〇〇電力会社	受注者	〇〇建設会社
工事規模	契約額：約〇〇億円	工期	569日
工事内容	区分：新設 施設用途：送電施設 諸元等： ・送電鉄塔13基新設、電線亘長3.03km架線 条件等： ・開閉所新設箇所の施工において、変電部門工事との工程調整が必要。 ・一部水田があり、工事実施時期が限定される（10月～3月等）。 ・発電所の接続工事であり、連系時期が決まっている。 施工体制： ・下請け階層：一次		

取組目標

★ 現場閉所 4週6閉所 ★ 現場作業従事者 4週6休 を目標に設定

□ 目標設定の背景等

・本工事が冬季休工（豪雪地帯）や自然動物保護による施工期間に対する特殊な制約を受けにくく、また周辺に民家・学校がないため施工時間の制約もないことから、受発注者ともに4週6休の目標を設定した。

□ 目標対象者の範囲

・原則、元請け、下請けを問わず全ての現場従事者（現場技術者8人、現場作業従事者10人×6班）を対象としている。

・取組開始当初に、対象者からの抵抗等は特にありませんでした。

取組内容

■ 目標達成のための実施方法や工夫等

□ 発注者側の取組

○隔週の週休2日の導入

・日曜日は休み、次週の土曜日・日曜日は休みを基本工程とし、連休・お盆・年末年始は連休を取得していただく。

・送電線路停止工事時などの制約時は4週6休できない時期の補完とし、工期全体で4週6休を実施する予定とした。

○元請けとの調整

・工事計画・設計時から元請けを予報契約※し、4週6休の工程作成に協力いただいた。

※詳細設計に基づく見積依頼を行う前に、工事会社と技術的検討などを行う必要があると判断した件名については、工事計画の概要、予定工期などを示し、あらかじめ契約先を内定する契約

・工事実施時には、元請けによる4週6休に向けた工程調整の結果を基本に、発注者からの変更等の依頼時には工程に無理が生じないよう元請けと調整を実施している。

□ 受注者側の取組

○工程会議を通じた工程調整

・毎週、現場技術者と作業班長が参加する工程会議を実施しており、同時に2ヶ月先まで

の工程を調整し、4週6休を実施している。

■ 取組をおこなって良かった点

- ・元請けからは、4週6休を意識することで、結果して作業の効率化につながり、作業員の意識に変化が生まれた。また身体の休息や家族サービスができるようになったと聞いている。
- ・効率化された作業として、資材・重機の手配、作業員の確保がある。

■ 留意すべき課題等

- ・電線工事を実施する際には、電気事故を防ぐため送電線路を停止（停電）する必要がある。送電線路停止期間は、電気の需要家との交渉・調整、また送電線路の系統を運用する上での制限等（供給信頼度の確保等）を踏まえ決定される。
- ・このため、送電線路停止期間における電線工事時は、制約上4週6休は不可能となる。本工事では、代わりにお盆等に長期休暇を取得いただくことで対応いただいた。
- ・悪天候（雪）の予報時には、前日に作業中止を決定している。
- ・今後、大きなトラブル（インフルエンザによる現場作業従事者の減）や悪天候、災害等が発生することがない限り、概ね目標を達成できる見通し。
- ・本工事の取組や目標は、他の類似工事においても可能と考えられる。ただし、十分な事前準備（工程調整）や工期設定ができない案件（工事申込みから完了希望日までが短期間）、送電線路停止での工事が大半を占める場合は達成が難しいと考えられる。
- ・この業界では、電気（送電）を止めて作業を行うため、その期間は休暇が取りにくい。

Key Word: 隔週の週休2日、定期の会議

21. ダム管理所改修工事（施工中）★

工事概要			
発注者	〇〇電力会社	受注者	〇〇建設会社
工事規模	契約額：約 0.1 億円		工期：30 日
工事内容	区分：改修 施設用途：ダム管理所 諸元等： ・RC 造、地上 2 階、地下 0 階、延床面積 146 m² ・外壁修繕：270 m² 条件等： ・引き渡し：2020 年 3 月 19 日 施工体制： ・元請 現場技術者 専任 1 人、現場作業従事者 約 15 人 ・下請け階層 二次、一次下請 1 社、二次下請 4 社（下請社総数 5 社）  施工前の建て屋		

取組目標

★ 現場閉所 4週8閉所 ★ 現場作業従事者 4週8休 を目標に設定

□ 目標設定の背景等

・国土交通省や(一社)日本建設業連合会等が働き方改革に取り組んでいることを踏まえ、発注者からの提案で目標を設定した。

・本工事は工程に関する制約条件がなく、受注者の施工方法や工程の検討結果から、発注者として4週8日を達成可能と判断し、目標を設定した。

□ 目標対象者の範囲

・元請・下請を問わず、現場技術者及び現場作業従事者(平均7人/日)を対象とした。

取組内容

■ 目標達成のための実施方法や工夫等

□ 発注者側の取組

○日々の作業報告・週間工程表による工程管理

・日々の電話による作業開始・終了報告時、ならびに週末に提出される週間工程表により作業予定・進捗を把握し、工程変更への対策を受注者と共有する。

○現場で発生する諸問題の早期解決

・受注者から工事担当者への諸問題報告メールを上司にも送信してもらうことで、担当者が

休暇や出張で対応できない場合でも、上司が対応して現場の手待ちをなくす。

□ 受注者側の取組

○計画的な閉所日の設定

- ・全工期を通して原則として土曜、日曜日は閉所日として工程を設定し、祝祭日（月～金）は稼働日とする。

- ・月間工程表等で予定休日（閉所日）を事前周知することにより、元請け及び現場作業従事者に休暇を取得する意識を高める。

○現場で発生する諸問題の早期解決

- ・発注者への諸問題報告メールを担当者に加え上司にも送信することで、担当者が休暇や出張で対応できない場合でも、早期解決を行ってもらい手戻りのない工程管理を行う。

- ・日々、天候モニタリングを行い荒天による工程への影響を最小限に止める措置を図る。

■ 取組をおこなって良かった点

- ・（取組前のため、特になし）

■ 留意すべき課題等

- ・（取組前のため、特になし）

Key Word: 週間工程表、計画的な閉所、諸問題の早期解決

22. 寮新館改修工事（完成済）

工事概要			
発注者	〇〇電力会社	受注者	〇〇建設会社
工事規模	契約額：約 7.5 千万円	工期	129 日
工事内容	区分：改修 施設用途：寮 諸元等： ・RC造・地上 3 階（社員寮の内外装リフレッシュ）、 延べ 639.47m²、寮室 24 室 条件等： ・周辺環境：住宅地 ・引き渡し時期：平成 31 年 2 月 施工体制： ・下請け階層：三次、一次下請 約 25 社  		

取組目標

★ 現場閉所 4週8閉所 ★ 現場作業従事者 4週8休 を目標に設定

□ 目標設定の背景等

・発注者所有の独身寮であり、工事に伴う電力供給への影響もない施設であるとともに、住宅密集地での改修工事となるため、周辺環境への配慮から、原則「土日祝日：作業なし」と目標を設定した。

・受注者としても、発注者の工期設定が現場で4週8休を実施できる無理のない工事期間を取っていただけたため、目標を設定することができた。

□ 目標対象者の範囲

・原則、元請け、下請けを問わず全ての現場従事者（現場技術者1人、現場作業従事者ピーク時 20 人/日・延べ約 140 人）を対象としている。

・取組開始当初に、対象者からの抵抗等は特になかった。

取組内容

■ 目標達成のための実施方法や工夫等

□ 発注者側の取組

○発注仕様書への規定

・発注仕様書に原則、土日祝日は休工日とすることを明記した※。土日祝日に作業を行う必要がある場合には協議を行うこととした。

※：請負人は、工事施工にあたって工事工程を作成し（但し、土日祭日は原則休工）、工事担当者に提出し、これを遵守しなければならない。

○定期の会議等を通じた工程調整

・受発注者間の認識を共有するため、週間・月間工程会議を通じて、進捗状況や予定に関する定期的な打合せの場を設け、週休2日の実現に向けた工程管理を実施した。

- ・週間工程会議には発注者側の担当者と現場代理人、月間工程会議には発注者側の担当者と上長、現場代理人が参加し、工事進捗状況と設計通り施工できているかの確認を行った。

□ 受注者側の取組

○週休2日の導入

- ・原則として土日祝日を閉所とし、4週8休を実施した。

○下請契約の条件

- ・協力会社は、請負契約締結時の条件として週休2日の現場であることを了解した上で契約した。これにより、他の現場と事前調整し、作業員のシフトを組んでもらった。

■ 取組をおこなって良かった点

- ・発注者としては、休日出勤して現場管理を実施する必要性がなくなった。
- ・受注者は、内装作業において、通常より1日少ない週5日サイクルの作業としてとらえ、作業工程・資材搬入計画を協力業者から積極的に提案を行うようになった。

■ 留意すべき課題等

- ・現場閉所により現場作業は行っていないが、下請けとの連絡調整は土曜日も行っているため、工事担当者(現場代理人)は週休2日となっていない場合が多かった(元請けの会社は隔週の週休2日)。
- ・現場閉所日は、土曜日閉所となっていない現場へ移動する作業員も少なからずいたと思われる。個々の協力会社の事情もあり、当現場に入所する作業員全員が週休2日で休めているかは、元請けとして把握していない。
- ・本工事の取組や目標は、他の類似工事においても可能と考えられる。本工事と同じ取組や目標を設定するとした場合、その取組や目標達成を阻害する恐れのある要素として、協力業者の確保が挙げられる。

Key Word: 週休2日、発注仕様書、定期の会議、下請契約の条件

23. ロックシェッド設置工事（完成済）☆

工事概要			
発注者	中部電力(株)	受注者	(株)シーテック
工事規模	契約額：約7千万円	工期	199日
工事内容	区分：新設 施設用途：その他 諸元等： ・ロックシェッド※設置(RC造) 本体 支柱・梁 H414×405、大きさ 20mm×9.5m、高さ4m、重量50t 条件等： ・地盤条件：落石危険箇所に対処するための工事であるため、作業期間中、常に落石の危険が伴う。 ・周辺環境：通勤路(巡視路5.5km区間)の道幅が狭い(最小2m)ため、工事車両・重機の大きさが限られる。 施工体制： ・下請け階層：二次、一次下請 4社 ※ ロックシェッド：落石や土砂崩れから道路を守るための防護用(覆い形状)の建造物  		

取組目標

★ 現場閉所 4週8閉所 ☆ 現場作業従事者 4週8休 を目標に設定

□ 目標設定の背景等

- ・単年度工事であり、発電停止・ダム水位等の制約条件が無く、土木単独かつ自社物件のため、工程調整が容易であること、また当該新設構造物は河川区域内の設置とはならず、出水による工程への影響が無いことから、発注者の判断で取組を実施することとした。
- ・受注者としては、過去に施工を担当した現場への通勤路上での工事であり、現場状況を十分に把握しており、構造物を新設する仕事で比較的工程の計画が立てやすかった。

□ 目標対象者の範囲

- ・原則、元請け、下請けを問わず全ての現場従事者(現場技術者1人、現場作業従事者5人)を対象とした。
- ・取組開始当初は、机上現場説明において、工程および現場条件等を説明し、理解を得るよう努めた。また実工程を確定するまでに受発注者間で協議し、実現可能な工程とした。

取組内容

■ 目標達成のための実施方法や工夫等

□ 発注者側の取組

○工事仕様書等の規定

- ・仕様書で「土曜日・日曜日、祝祭日を問わず対象期間の2/7以上(少数点以下切上げ)の日数を休工日とする」と明記し、契約時点でその内容を加味した契約としている。

○週休2日の導入

- ・工程上は土日祝日を原則休工としたが、祝日は予備日とし、現場状況に応じて作業可能であるものとして、実施工程を作成している。
- ・度重なる台風の襲来を受け、祝日は工程確保のため、現場作業を行うよう調整した。毎週土日閉所による週休2日は完成まで継続し、目標を達成した。

○定期の会議等を通じた工程管理

- ・受発注者間の認識の共有を図るため、作業日報や週間・月間工程会議を通じて、進捗状況等に関する定期的な打合せの場を設け、週休2日の実現に向けた工程管理を実施。

○施工上の工夫等

- ・作業を効率的に進める方法を受発注者間で協議し、現場からの意見を可能な限り反映し、設計を変更することで、工期短縮を意識して作業の効率化を図った。
(例：置き換えコンクリート・もたれ擁壁の形状を変更し、岩盤の掘削手間を削減した。)

- ・発注者側の作業管理者が繰り返し現場に足を運び、受注者の声を聴き、必要に応じて関係部署と調整し、作業の効率化を図った。
(例：林野庁との協議を経て掘削土の土捨て場を近傍に変更し、作業効率を向上させた。)

□ 受注者側の取組

○下請けとの密な工程調整

- ・主に、元請けと下請けとの間で工程調整を週毎、月毎に密に実施して、休日の都合を全員であわせた。雨等でコンクリート工事が出来ない日は、現場全体を休工とし、土日の休工予定日に振り替えて作業を行った。

○現場環境の改善

- ・現場休憩所内の大きさを作業員数に合わせ、休憩所の環境を整えたことで、元請けと下請けが一緒に休憩できるようにした。休憩中の会話から、作業内容について意見交換する場が生まれ、現場作業の効率化につながった。
- ・現場内の作業を全て見渡すことができる監視所を設置し、その中で机上業務及び現場管理業務を効率よく実施した。



■ 取組をおこなって良かった点

- ・土日を休工とすることで、地元役場関係部署や観光協会からの工事実施に対する理解が得られやすくなり、工事がスムーズに進められるようになった。
- ・土日を現場休工とすることで、休日中の工事進捗状況に対する発注者側としての心配が無くなり、リラックスして休めるようになった。

- ・現場作業員からは、週休2日制となったことで、余暇や自宅の畑作業の時間が確保できるようになったと聞いている。

■ 留意すべき課題等

- ・降雨等により工程が遅延した際の調整がより厳格化した。
- ・受注者は、机上業務を土日に行えなくなったことから、平日に残業するケースがあった。今後は提出書類の種類を減らし、机上業務を簡略化していく必要がある。
- ・台風の襲来による崩土の処理に時間を費やしたため、一時現場作業に遅れが生じたが、設計変更等で作業工程を短縮し、工程の遅れを解消した。
- ・本工事の取組や目標は、制約条件等が極めて少ない工事であれば、他の類似工事においても可能と考えられる。本工事と同じ取組や目標達成を阻害する恐れのある要素として、通勤途上の通行規制等の制約、予期せぬ自然災害、劣悪な作業環境(風、雪等)、現場作業員の不足が挙げられる。

Key Word: 工事仕様書、週休2日、施工上の工夫、下請けとの密な工程調整、現場環境

24. 発電所施設除却工事（施工中）★

工事概要

発注者	〇〇電力会社	受注者	〇〇建設会社
工事規模	契約額：約 50 億円 工期：約 850 日		
工事内容	区分：解体 施設用途：発電施設の除却 諸元等： ・60 万 kW の発電機、タービン、ボイラー 2 基の除却 ・45 万 kW の発電機、タービン、ボイラー 2 基の除却 ・煙突 180m 2 基の除却 ・取水路、放水路、重原油タンクの除却 条件等： ・引き渡し：2022 年 1 月 31 日 施工体制： ・元請 現場技術者 9 人、現場作業従事者 約 50 人 ・一次下請 5 社、二次下請 10 社		

取組目標

★ 現場閉所 4週7閉所 ★ 現場作業従事者 4週8休 を目標に設定
 （2020 年6月と10 月、2021 年6月は4週6閉所）

□ 目標設定の背景等

・働き方改革に対して受注者の会社目標として最低4週6閉所を行うこととしているが、本工事は工期もあるため、目標として4週7閉所としている。

・着工時に作業所閉所予定のカレンダーを作成し、協力会社にも了解の上、閉所日を決めた。ただし、2020 年6月と10 月、2021 年6月は4週6閉所としている。

□ 目標対象者の範囲

・元請・下請を問わず、すべての現場従事者としている。

取組内容

■ 目標達成のための実施方法や工夫等

□ 発注者側の取組

・基本的に4週8閉所を実施している。

□ 受注者側の取組

○第二・第四土曜日の全休

・第二、第四土曜日を全休とし、祭日はできるだけ休むようにし、4週7閉所を目標として実施している。

○休暇予定表による管理

・すべての工期の個人の休暇予定表を作成し、土曜日に出勤した場合は振替休日を取得し、4週8休を実施している。

・今後も大きなトラブルがない場合は全工期で実施したいと考えている。



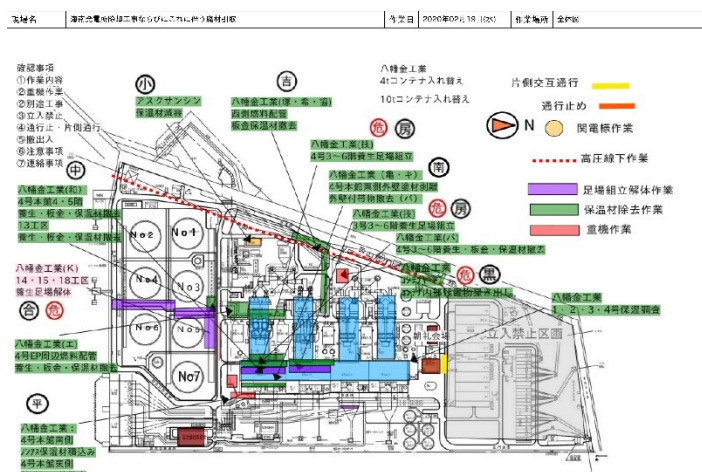
休暇予定表

○ITツールの活用

- ・各メンバーが i-Pad を携帯し、ITツールの活用を積極的に行うなど、業務改善に取り組んでいる。



デジタルサイネージを使用した朝礼



Billdee を利用した打合せ

■ 取組をおこなって良かった点

- ・第二、第四土曜日を全休とすることにより、家族サービスなど計画的に予定が立てられるようになった。また、全休することにより、気持ちの面でも安心して休むことができています。
- ・定期的に休日を取ることで、精神的にもリフレッシュできている。

■ 留意すべき課題等

- ・協力会社の現場作業従事者の多くが日給になっているため、土曜日に稼働している現場に行くこともある。
- ・土曜日に休んだとしても今までと変わらない月給になるように単価を上げて上げるか、現場作業従事者も月給制にしていくべきと考える。

Key Word: 休暇予定表、ITツール

25. 発電所設備撤去工事（施工中）★

工事概要			
発注者	〇〇電力会社	受注者	〇〇建設会社
工事規模	契約額：約2億円		工期：444日
工事内容	区分：撤去 施設用途：廃止設備（取放水路等）		
	諸元等： ・発電所構内にある、廃止設備（取放水路等）の撤去ならびに整地復旧する工事 条件等： ・周辺環境：発電所近辺には住宅街があり、発電所入口付近は、片側1車線となっている。 ・作業条件：稼働中の発電設備・危険物設備近傍での作業である為、稼働設備・危険物設備への注意が必要となる。また、構内道路下部作業のため、工事中に構内道路の通行に支障が生じないように、施工場所についての周知や迂回路の設置が必要となる。 ・その他：撤去対象の一部には特別管理産業廃棄物（石綿）が含有しているため、石綿撤去に関する法令順守及び、それらに関わる調査を含む必要な措置を講じての施工が必要となる。 施工体制： ・元請：現場代理人 専任1名 ・下請階層：二次、一次下請 7社、二次下請け 9社（総下請社総数 16社）		
			

取組目標

★ 現場閉所 4週8閉所 ★ 現場作業従事者 4週8休 を目標に設定

□ 目標設定の背景等

・発注者も時間外労働短縮に積極的に取り組んでいること、受注者も4週8休を積極的に実施していることもあり、4週8休実施に向けた工程計画に対し、取り組みやすい状況であった。

□ 目標対象者の範囲

・元請・下請を問わず、すべての現場従業者を対象とした。

取組内容

■ 目標達成のための実施方法や工夫等

□ 発注者側の取組

○定期的会議等を通じた工程管理

・発注者と受注者間の認識を共有するため、週間・月間工程会議等を通じて、進捗状況や予定に関する定期的な打ち合わせの場を設け、竣工に向けた工程管理を実施した。

□ 受注者側の取組

○『土、日、祝日』現場閉所の導入

- ・GW、夏季休暇、冬季休暇の他、すべての土曜、日曜、祝日を完全閉所とした工程を作成し、協力業者からの理解を得て、4週8閉所を実現した。

・

○施工方法の検討

- ・現場の施工法及び順序を効率よく組み合わせ・見直すことにより工程短縮を実現した。

■ 取組をおこなって良かった点

- ・週休2日を実施することで、近隣住民からの騒音・振動、建設車両等の往来に関する問い合わせ対応等が発生しなかった。（※近隣住民在宅時（休日）の環境への効果）

- ・連休となることで、作業員等の心身のリフレッシュができた。

■ 留意すべき課題等

- ・類似工事において、週休2日を達成するためには、計画段階から、元請、下請を含めた理解や協力、それらを実施するための工程の調整や工法の工夫等が必要となる。

- ・梅雨時期や台風襲来等の天候条件により、土工事等施工に制限が出るため、それらを考慮した、工期設定が必要となる。

Key Word: 定期の会議、『土、日、祝日』現場閉所、効率的な施工方法

26. 工事用道路整備工事（施工中）★

工事概要			
発注者	〇〇電力会社	受注者	〇〇建設会社
工事規模	契約額：（非公表） 工期：1,006 日		
工事内容	区分：新設 施設用途：発電施設 諸元等： ・道路新設 L=220 m（うちトンネル L=199 m） ・既設農道拡幅 L=412 m ・ため池整備 一式 条件等： ・地盤条件：トンネルの掘削地盤は、シルト岩 ・周辺環境：既設農道拡幅部、および、ため池整備箇所は民家に近接しており、工事車両等の通行に制限あり。 ・制約条件：河川横断部の工事は、非出水期（10 月 15 日～5 月 15 日）に実施 施工体制： ・下請け階層：三次 一次下請 3 社		

取組目標

★ 現場閉所 4週8閉所 ★ 現場作業従事者 4週8休 を目標に設定（2020 年度中）

□ 目標設定の背景等

・元請会社の「働き方改革」の方針で、4週8閉所の実施を 2020 年度に 50%、2021 年度に 100%の達成目標に掲げている。

・その方針を鑑み、現場の工程や施工手順を検討して、現時点での4週6閉所を 2020 年度中には4週8閉所にできるよう、元請会社の目標として取り組んでいる。

□ 目標対象者の範囲

・閉所日は、元請と協力業者の区別なく全休とするため、元請と協力業者のすべてを対象としている。

取組内容

■ 目標達成のための実施方法や工夫等

□ 発注者側の取組

○ 週休2日の導入

・発注者としては、4週6休を考慮した工程を設定しており、工事の進捗状況を睨みながら、受注者との工程調整を密に行い、週休2日の導入にできるだけ協力していく。

□ 受注者側の取組

○ 週休2日の導入

・第2、第4土曜日を基本的に完全閉所とし、4週6閉所を前提とした当初計画工程を立案している。今後は4週8閉所を達成できるよう工程調整を進めていく。

・連休（3連休、4連休等）がある場合には、土曜閉所日を柔軟に稼働日に変更している。

・土日と祝日が連続する連休（3連休、4連休等）がある場合には、その祝日も閉所としてなるべく長く休みを取れるようにする。その代わりに他の土曜日を稼働日とし、4週6閉所と連休（3連休、4連休等）を同時に確保しながらも、現場稼働日を確保している。

○派遣社員の活用

- ・元請の施工管理の補助として施工管理専門の派遣社員を2名確保し、現場管理に従事させることで、業務の分散化を図り、労働時間の短縮に努めている。

○新規入場教育ビデオの活用

- ・「生産性向上」として、新規入場者用教育ビデオを現場で作成し、新規入場者教育の時間短縮(ビデオ視聴時にアンケート用紙のチェックを行う等)や入場教育の効率化を図っている。

■ 取組をおこなって良かった点

- ・単身赴任者が3連休などの少しでも長い休みに帰省できるよう、計画が事前に立てられている。

■ 留意すべき課題等

- ・4週8閉所や祝日閉所を前提条件としている工事ばかりでない。
- ・今後は週休2日や祝日閉所を前提とした工期の設定や工事費の算定を、発注段階から考慮しておく必要があると考える。

Key Word: 週休2日、派遣社員、新規入場教育ビデオ